# 

# FS 3140

ファイルベース QC ソリューション

取扱説明書



# 目次

1.1       保証範囲       1         1.2       商標について       1         2.       位禄       2         2.1       極要       2         2.2       特長       2         2.3       規作環境[ [ 佳炅]       2         2.3.1       動作環境[ [ 佳炅]       2         2.3.2       検査(重)       2         2.3.3       検査(重)       4         2.3.4       一般仕様       5         3       ( 株金を始める前に       6         3.1       インストール       6         3.2       FS 3140 アブリケーション       6         3.2.1       コントロージ・検査エニットの迫加/レストール       7         3.2.2       検査エットの迫加/レストール       11         3.2.3       FS 3140 Player       12         3.3.1       インストール       12         3.3.1       インストール       12         3.3.1       インストール       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 Player       12         3.4       アンインストール       16         4       左認・       17         4.1       管理者としてログインする方法法       17 <t< th=""><th>1. はじめに</th><th> 1</th></t<>	1. はじめに	1
1.2       南標について	1.1 保証範囲	1
2. 仕様       2         2.1 概要       2         2.2 特長       2         2.3 規格       2         2.3.1 動作環境【推奨】       2         2.3.2 検査項目       3         2.3.3 検査結果レボート       4         2.3.4 一般仕様       5         3. 検査を始める前に       6         3.1 インストール       6         3.2 FS 3140 アブリケーション       6         3.2.1 コントローラ 検査ユニットのインストール       7         3.2.2 検査ユニットの追加インストール       7         3.2.3 ソフトウェアライセンスのアクティベーション       12         3.3 FS 3140 Player       12         3.3.1 インストール       12         3.3.2 ソフトウェアライセンスのアクティベーション       12         3.3.1 インストール       12         3.3.2 ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3 FS 3140 とのリンク設定       15         3.4 アンインストール       16         4. 起勤       アジョン         4.4 FS 3140 絵丁       17         4.4 FS 3140 松丁       20         5.2 ダブの離要	1.2 商標について	1
2.1 概要	2. 仕様	2
2.2       特長       2         2.3       規格       2         2.3.1       動作環境[推奨]       2         2.3.2       検査項目       3         2.3.3       検査権用       4         2.3.4       一般仕様       5         3       検査を始める前に       6         3.1       インストール       6         3.2       FS 3140 アブリケーション       6         3.2.1       コントローラ・検査ユニットのインストール       7         3.2.2       検査セニットの追加インストール       12         3.3       FS 3140 Player       12         3.3.1       インストール       12         3.3.1       インストール       12         3.3.1       インストール       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3       FS 3140 Eoリンク設定       15         3.4       アンインストール       16         4       起動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たにエーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 & T       19         5       ユーザーインダフェース       20         5.1       タブの概要       20	2.1 概要	2
2.3       規格       2         2.3.1       動作環境【推奨】       2         2.3.2       検査項目       3         2.3.3       検査結果レポート       4         2.3.4       一般仕様       5         3.       検査を始める前に       6         3.1       インストール       6         3.2       FS 3140 アプリケーション       6         3.2       FS 3140 アプリケーション       6         3.2.1       コントローラ・検査ユニットの追加インストール       7         3.2.2       検査ユニットの追加インストール       11         3.2.3       Jフトウェアライセンスのアクティベーション       12         3.1       インストール       12         3.2.1       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       12         3.3       FS 3140 Payer       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 とのリンク設定       15         3.4       アンインストール       16         4.       E型動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たビニーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 Trayアブリケーション       18         4.4       FS 3140 総丁       19	2.2 特長	2
2.3.1       動作環境 [推奨]       2         2.3.2       検査項目       3         2.3.3       検査結果レポート       4         2.3.4       一般仕様       5         3.       検査を始める前に       6         3.1       インストール       6         3.2       FS 3140 アブリケーション       6         3.2.1       コントローラ・検査ユニットのグレストール       7         3.2.2       検査エットの追加インストール       7         3.2.3       アS 3140 アブリケーション       12         3.3       FS 3140 Player       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 Player       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 Ellongy       15         3.4       アンイシストール       16         4.       超動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たにニーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 終了       17         5.       ユーザーインタフェーズ       20         5.1       タブの概要       20         5.2 <td>2.3 規格</td> <td>2</td>	2.3 規格	2
2.3.2       検査項目       .3         2.3.3       検査結果レボート       .4         2.3.4       一般仕様       .5         3.       検査を始める前に       .6         3.1       インストール       .6         3.2       FS 3140 アプリケーション       .6         3.2.1       コントローラ・検査ユニットのインストール       .7         3.2.2       検査エニットの追加インストール       .7         3.2.3       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       .11         3.2.3       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       .12         3.3.1       インストール       .12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       .14         3.3.3       FS 3140 Player       .15         3.4       アンインストール       .16         4.       起動       .17         4.1       管理者としてログインする方法       .17         4.2       新たにユーザーを設定する       .17         4.3       FS 3140 Trayrブリケーション       .18         5.       ユーザーインタブマンオトール       .19 <td>2.3.1 動作環境【推奨】</td> <td>2</td>	2.3.1 動作環境【推奨】	2
2.3.3 検査結果レボート	2.3.2 検査項目	3
2.3.4       一般仕様       5         3.       検査を始める前に       6         3.1       インストール       6         3.2       FS 3140 アブリケーション       6         3.2.1       コントローラ・検査ユニットのインストール       7         3.2.2       検査エニットの追加インストール       7         3.2.1       コントローラ・検査ユニットのインストール       11         3.2.2       検査エニットの追加インストール       7         3.2.4       検査オニットの追加インストール       12         3.3       FS 3140 Player       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 Player       15         3.4       アンインストール       16         4       起動       17         4.1       管理者としてログインオる方法       17         4.2       新たにユーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4       FS 3140 Trayアプリケーション       18         5.1       タブの概要       20         5.1       タブの概要       20         5.2       タブの能要       20         5.2       ダブの概要       21         5.2.1       "Home" タブ       21	2.3.3 検査結果レポート	4
3. 検査を始める前に	2.3.4 一般仕様	5
3.1       インストール       6         3.2       FS 3140 アプリケーション       6         3.2.1       コントローラ・検査ユニットのインストール       7         3.2.2       検査ユニットの追加インストール       7         3.2.3       アントウェアライセンスのアクティベーション       12         3.3       FS 3140 Player       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 Lonyンク設定       15         3.4       アンインストール       16         4.       起動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たにユーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4       FS 3140 May       19         5.       ユーザーインタフェース       20         5.1       タブの概要       20         5.2       タブの概要       21         5.2.1       "Home" タブ       22         5.2.3       "Template Editor" タブ       22         5.2.4       "Smart Test Plan" タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートへの間気       31<	3. 検査を始める前に	6
3.2       FS 3140 アプリケーション	3.1 インストール	6
3.2.1       コントローラ・検査ユニットのインストール       .7         3.2.2       検査ユニットの追加インストール       .11         3.2.3       ソフトウェアライセンスのアクティペーション       .12         3.3       FS 3140 Player       .12         3.3.1       インストール       .12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティペーション       .14         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティペーション       .14         3.3.3       FS 3140 とのリンク設定       .15         3.4       アンインストール       .16         4.       起動       .17         4.1       管理者としてログインする方法       .17         4.2       新たにユーザーを設定する       .17         4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       .18         4.4       FS 3140 終了       .19         5.       ユーザーインタフェース       .20         5.1       タブの概要       .20         5.2       タブの概要       .21         5.2.1       "Home" タブ       .21         5.2.2       "Add New Job" タブ       .22         5.2.3       "Template Editor " タブ       .24         5.2.4       "Smart Test Plan " タブ       .28         6.       検査結果レポート       .31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       .31         6.2 </td <td>3.2 FS 3140 アプリケーション</td> <td>6</td>	3.2 FS 3140 アプリケーション	6
3.2.2       検査ユニットの道加インストール	3.2.1 コントローラ・検査ユニットのインストール	7
3.2.3       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       12         3.3       FS 3140 Player       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 とのリンク設定       15         3.4       アンインストール       16         4.       起動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たにユーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4       FS 3140 終了       19         5.       ユーザーインタフェース       20         5.1       タブの概要       21         5.2.2       "Add New Job" タブ       22         5.2.3       "Template Editor" タブ       22         5.2.3       "Template Editor" タブ       24         5.2.4       "Smart Test Plan" タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートの閲覧       31	3.2.2 検査ユニットの追加インストール	11
3.3       FS 3140 Player       12         3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 とのリンク設定       15         3.4       アンインストール       16         4.       起動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たにユーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4       FS 3140 終了       19         5.       ユーザーインタフェース       20         5.1       タブの概要       21         5.2       タブの概要       21         5.2.1       "Home" タブ       21         5.2.2       "Add New Job" タブ       22         5.2.3       "Template Editor" タブ       24         5.2.4       "Smart Test Plan" タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートの閲覧       31	3.2.3 ソフトウェアライセンスのアクティベーション	12
3.3.1       インストール       12         3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 とのリンク設定       15         3.4       アンインストール       16         4.       起動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たにユーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4       FS 3140 凝了       19         5.       ユーザーインタフェース       20         5.1       タブの概要       21         5.2.1       "Home" タブ       21         5.2.2       "Add New Job" タブ       22         5.2.3       "Template Editor" タブ       24         5.2.4       "Smart Test Plan" タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートの閲覧       31	3.3 FS 3140 Player	12
3.3.2       ソフトウェアライセンスのアクティベーション       14         3.3.3       FS 3140 とのリンク設定       15         3.4       アンインストール       16         4.       起動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たにユーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4       FS 3140 終了       19         5.       ユーザーインタフェース       20         5.1       タブの概要       21         5.2.1       "Home" タブ       21         5.2.2       "Add New Job" タブ       22         5.2.3       "Template Editor" タブ       24         5.2.4       "Smart Test Plan" タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートの閲覧       31	3.3.1 インストール	12
3.3.3       FS 3140 とのリンク設定       15         3.4       アンインストール       16         4.       起動       17         4.1       管理者としてログインする方法       17         4.2       新たにユーザーを設定する       17         4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4       FS 3140 終了       19         5.       ユーザーインタフェース       20         5.1       タブの概要       20         5.2       タブの概要       21         5.2.1       "Home" タブ       21         5.2.2       "Add New Job" タブ       22         5.2.3       "Template Editor" タブ       24         5.2.4       "Smart Test Plan" タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートの閲覧       31	3.3.2 ソフトウェアライセンスのアクティベーション	14
3.4 アンインストール       16         4. 起動       17         4.1 管理者としてログインする方法       17         4.2 新たにユーザーを設定する       17         4.3 FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4 FS 3140 終了       19         5. ユーザーインタフェース       20         5.1 タブの概要       20         5.2 タブの詳細       21         5.2.1 "Home "タブ       21         5.2.2 "Add New Job " タブ       22         5.2.3 "Template Editor " タブ       24         5.2.4 "Smart Test Plan " タブ       28         6. 検査結果レポート       31         6.1 検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2 検査結果レポートの閲覧       31	3.3.3 FS 3140 とのリンク設定	15
4. 起動       17         4.1 管理者としてログインする方法       17         4.2 新たにユーザーを設定する       17         4.3 FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4 FS 3140 終了       19         5. ユーザーインタフェース       20         5.1 タブの概要       20         5.2 タブの詳細       21         5.2.1 "Home "タブ       21         5.2.2 "Add New Job "タブ       22         5.2.3 "Template Editor " タブ       24         5.2.4 "Smart Test Plan " タブ       28         6. 検査結果レポート       31         6.1 検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2 検査結果レポートの閲覧       31	3.4 アンインストール	16
4.1       管理者としてログインする方法	4. 起動	.17
4.2 新たにユーザーを設定する	41 管理者としてログインする方法	17
4.3       FS 3140 Trayアプリケーション       18         4.4       FS 3140 終了       19         5.       ユーザーインタフェース       20         5.1       タブの概要       20         5.2       タブの詳細       21         5.2.1       " Home " タブ       21         5.2.2       " Add New Job " タブ       21         5.2.3       " Template Editor " タブ       22         5.2.4       " Smart Test Plan " タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートの閲覧       31	<ul><li>4.2 新たにユーザーを設定する</li></ul>	17
4.4       FS 3140 終了	4.3 FS 3140 Trayアプリケーション	
5. ユーザーインタフェース       20         5.1 タブの概要       20         5.2 タブの詳細       21         5.2.1 "Home "タブ       21         5.2.2 "Add New Job "タブ       21         5.2.3 "Template Editor " タブ       22         5.2.4 "Smart Test Plan " タブ       28         6. 検査結果レポート       31         6.1 検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2 検査結果レポートの閲覧       31	4.4 FS 3140 終了	
<ul> <li>5. ユーザーインタフェース 20</li> <li>5.1 タブの概要 20</li> <li>5.2 タブの詳細 21</li> <li>5.2.1 "Home "タブ 21</li> <li>5.2.2 "Add New Job "タブ 22</li> <li>5.2.3 "Template Editor "タブ 24</li> <li>5.2.4 "Smart Test Plan "タブ 28</li> <li>6. 検査結果レポート 31</li> <li>6.1 検査結果レポートへのアクセス方法 31</li> <li>6.2 検査結果レポートの閲覧 31</li> </ul>		20
5.1       タブの概要       20         5.2       タブの詳細       21         5.2.1       "Home " タブ       21         5.2.2       "Add New Job " タブ       22         5.2.3       "Template Editor " タブ       24         5.2.4       "Smart Test Plan " タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートの閲覧       31	<b>5.</b> $$	.20
5.2       タブの詳細       21         5.2.1       "Home " タブ       21         5.2.2       "Add New Job " タブ       22         5.2.3       "Template Editor " タブ       24         5.2.4       "Smart Test Plan " タブ       28         6.       検査結果レポート       31         6.1       検査結果レポートへのアクセス方法       31         6.2       検査結果レポートの閲覧       31	5.1 タブの概要	20
5.2.1       "Home "タブ	5.2 タブの詳細	21
5.2.2       "Add New Job " タブ	5.2.1 "Home "タブ	21
5.2.3       "Template Editor " タブ	5.2.2 "Add New Job " タブ	22
5.2.4       "Smart Test Plan " タブ	5.2.3 "Template Editor "タブ	24
<ul> <li>6. 検査結果レポート</li></ul>	5.2.4 "Smart Test Plan "タブ	28
<ul> <li>6.1 検査結果レポートへのアクセス方法</li></ul>	6. 検査結果レポート	.31
6.2       検査結果レポートの閲覧	6.1 検査結果レポートへのアクセス方法	31
		31

6.3	検査結果レポートからの当該ファイルをFS 3140 Playerで開く	33
6.4	FS 3140 Player " Review Bar "	34
7. FS	3140 その他の設定	36
7.1	検査処理の自動化	36
7.2	Eメール通知	37
7.3	過去のジョブの自動削除	37
7.4	マルチコア演算処理	
7.5	<b>PDF</b> 検査結果レポート名	
7.6	隔離するファイルの場所	
7.7	ブラウズコントロールの変更	
7.8	アップグレードに伴うテンプレート互換チェック	
8. FS	3140 Player	40
8.1	コンテナファイルの再生	40
8.2	サポートファイル	41
8.3	再生制御	41
8.4	再生エッセンスの選択	42
8.5	表示オプション	42

1. はじめに

このたびは、リーダー電子株式会社の計測器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうご ざいます。製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に本取扱説明書を最後までお読みいた だき、製品の正しい使い方をご理解の上、ご使用ください。

本取扱説明書をご覧になっても使い方が良くわからない場合は、取扱説明書の裏表紙に記載されている本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

本取扱説明書をお読みになった後は、いつでも必要なとき、ご覧になれるように保管してください。

1.1 保証範囲

この製品は、リーダー電子株式会社の厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。 お買い上げの日から1年間無償にて、メールによる技術サポートおよび、期間内のソフトウェ アバージョンアップ等のメンテナンスを受けることができます。2年目以降も引続き、上記サ ポート、メンテナンスを受ける場合には、1年毎にFS3140セレクトケアの契約更新が必要で す。また、保証期間内であっても、次の場合にはサポートの対象外となります。

- 1. 弊社によって製造されなかったソフトウェアまたは、弊社の承認を得ずに行った変更·改造 に起因する問題
- 2. 弊社ソフトウェア以外のソフトウェア
- 3. 弊社ソフトウェアと組合わせて使用されるソフトウェア
- 1.2 商標について

記載されている会社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 2. 仕様
  - 2.1 概要

本製品は、コンテンツファイルのフォーマットチェックならびに、品質検査(非参照型)を実施するファイルベース QC ソリューションです。

#### 2.2 特長

- 映像·音声品質検査
  - ・多彩な検査項目があり、項目の選択が可能です。選択した検査項目は、XML でのイン ポート・エクスポートが可能で、共有が可能です。
- 検査の自動化
  - ・指定したフォルダへのコンテンツ入力を監視し、入力完了後、自動的に検査が開始されます。検査結果レポートおよび、検査コンテンツを、"Success Path"【検査合格】 または、" Error Path "【検査不合格】で指定されたフォルダに振分けます。
- 検査結果レポート

・問題点を容易に判別できるデザインで、HTML, PDF 双方のファイルが出力されます。

- コンテンツ再生
  - ・検査済みコンテンツを再生するアプリケーションを有し、エラーがあった場合、別ウ ィンドウにエラー一覧が表示されます。また、検査結果レポートに表示されるエラー のサムネイルをクリックすると、エラー箇所が一時停止状態で表示され、エラー前後 のフレーム確認が行えます。
- 高速化

・nVidia 社 CUDA テクノロジーを利用して、検査の GPU アクセラレーションが可能です。

- 様々なフォーマットに対応
  - ・コンテナ

MXF, Transport Stream, Program Stream, Elementary Stream, AVI, MOV, FLV, GXF, LXF, WMV / ASF, MP4, 3GPP

・映像コーデック

MPEG-2(XDCAM, IMX), H.264(AVC / AVC-Intra / MVC 3D), DV, DVCPro, ProRes, DNxHD(VC-3), Cineform(VC-2), VC-1, RAW(Huffman, YUV, RGB, Blackmagic), Flash VP-6 / 7, JPEG-2000, Motion JPEG, H.263/+, EXR, DPX, RED, MPEG-4 Pt.2

・音声コーデック

PCM Audio(WAV / AES / BWF), MPEG-1, MPEG-2(Layer-1 / -2 / -3), AAC, WMA Standard / Pro, HE-AAC, Dolby Digital(AC-3), Dolby Digital+, Dolby TrueHD, Dolby E, DTS, DTS-HD / Master Audio, AIFF

・補助的なデータ

CEA-608, CEA-708, SCTE20, ATSC53, SCTE35, DVB Subtitles

- 2.3 規格
  - 2.3.1 動作環境【推奨】
    - OS Microsoft Windows® Server 2008 R2

2. 仕様

Microsoft Windows® 7 Professional / Enterprise (64bit)

- CPU
   Intel®Xeon®56xxまたは、Intel®Xeon®E5-26xx プロセッサ

   メモリ
   2G Byte 以上

   HDD空き容量
   80G Byte 以上のローカル空き容量

   10000~15000rpmのHDDまたは、SSD

   その他(高速化)
   プロフェッショナル製品のCUDAカード
  - (nVidia Quadro 6000, Tesla C-20, M-20 シリーズ以上)
- 2.3.2 検査項目

構造検査 コーデック構造チェック、コンテナ構造チェック、キャプション 構造チェック

- コンテナ内部情報検査 コンテナビットレートチェック、ストリーム総ビットレートチェ ック、ファイルサイズチェック、映像・音声とストリーム尺の比較、 ストリームとコンテナ内部情報の比較、PID 値チェック、コンテ ナファイル内各種情報チェック、コンテナフォーマットチェック、 コンテナのタイムコード不連続性チェック、キャプション内不適 切ワードチェック、PID 数チェック、ファイル拡張子と内容比較 ビデオ内部情報検査 映像再生時間チェック、表示解像度チェック、フレーム水平サイ ズチェック、フレーム垂直サイズチェック、表示スペクト比チェ ック、アスペクト比変更チェック、フレームレートチェック、映 像ストリームビットレートチェック、CBR/VBR チェック、プロ ファイル/レベルチェック、バッファサイズチェック、スキャンオ ーダチェック、GOP 長チェック、GOP クローズド/オープンチェ ック、GOP 構造チェック、バイト内 GOP サイズチェック、連続 した I,B,P フレーム長チェック、ブロック量子化パラメータチェ ック、同 GOP 内 I-frame と P/B-frame の量子数値変動チェッ ク、色空間情報(YUV/RGB/xvYCC)チェック、カラーガマット準 拠チェック、EBU R103-2000 による色域チェック、クロマプロ ファイルチェック、輝度チェック、彩度チェック、ケーデンスチ ェック、ケーデンス変更チェック、AFD 値チェック、AFD 値変 更チェック、CGMS-A 値チェック、Content Advisory Packet チェック、ピクセルアスペクト比チェック、アナモフィックビデ オチェック、クラッシュしたブラックレベルチェック、スーパー ホワイト輝度レベルチェック、映像ストリームのタイムコード不 連続性チェック
- 映像品質検査 マクロブロックノイズ(レベル 1)チェック、マクロブロックノイズ(レベル 2)チェック、符号化マクロブロック情報欠落チェック、連続フレームチェック(単色/静止画/黒)、フラッシュチェック (Ofcom 2009/NAB Japan 2006)、インタレースノイズチェック、フィールド反転チェック、黒帯チェック、カラーバーチェック、テープヒットノイズ(オルタネイトライン、光点、モザイク、アナログライン、ピクセル配列)、フィールドにおけるクロマ落ちチェック、黒線チェック、知覚ベースでの映像チェック、量子化ベースのブロックノイズチェック

SP1 以上【推奨】

音声内部情報検査	音声再生時間チェック、音声チャンネル数チェック、Dolby
	acmd/チャンネルカウント変化チェック、音声ストリームビット
	レートチェック、音声ビットデプスチェック、AC-3 ダイアログ
	ノーマライズチェック、AC-3 ダイアルノルム変化チェック、
	AC-3 ダイナミックレンジゲインチェック、音声言語 ID チェック
音声品質検査	ドロップアウト/無音チェック、瞬断チェック、ピークレベルチェ
	ック、EBU R128 トゥルーピークレベルチェック、ミニマムレベ
	ルチェック、ダイナミックレンジチェック、EBU R128 ラウドネ
	スレンジチェック、音声歪みチェック、テストトーンチェック、
	チャンネル位相チェック、スナップ/クリック/ポップノイズチェ
	ック、相関チェック、ATSC A/85 平均ラウドネスチェック、EBU
	R128 モーメンタリラウドネスチェック、EBU R128 ショートタ
	ームラウドネスチェック、EBU R128 プログラム平均ラウドネス
	チェック、ARIB TR-B32 平均ラウドネスチェック
ディストリビューション検査	DVD 準拠チェック、Blu-ray プライマリビデオ準拠チェック、
	Blu-ray セカンダリビデオ準拠チェック、CableLabs TV 準拠チ
	ェック、CableLabs VOD 準拠チェック、NTSC ビデオ準拠チェ
	ック、PAL ビデオ準拠チェック、ATSC 運用準拠チェック、DVB-T
	運用準拠チェック、ISDB-T 運用準拠チェック、SBTVD-T 運用
	準拠チェック、XDCAM MXF 準拠チェック、AS02 MXF 準拠チ
	ェック、iTunes 準拠チェック、Kabel Deutschland 準拠チェッ

- ク、Fox GXF HD Files 準拠チェック Slate/Head 検査 カラーバー存在チェック、テストトーン存在チェック、ブラック フレーム存在チェック、フリーズフレーム存在チェック、無音存 在チェック
- 2.3.3 検査結果レポート
  - 出力

構成

HTML および、PDF ファイル

一般的な	ヘッダ情報					
検査結果 入力パラメータ						
コンテナ・メタデータ概要						
映像ストリーム	・メタデータ概要					
音声ストリーム	・メタデータ概要					
分析結果と	検査結果概要					
エラー/警告/情報 結果詳細						
使用テンプ	プレート詳細					

一般的なヘッダ情報

製品に関する基本的な情報(製品 Ver., GPU の有無等)、弊社 ロゴや URL を表示する領域

検査結果

検査結果(赤:エラー有, 黄:警告有, 緑:エラー・警 告共に無)、検査開始・終了時刻、検査完了までの経過時間を 表示する領域

入力パラメータ

検査に使用したコンテンツファイル名、テンプレート名を表 示する領域

コンテナ・メタデータ概要

コンテナ内部情報(ストリーム数、ファイルサイズ、ビットレ ート等)を表示する領域

映像ストリーム・メタデータ概要

映像ストリーム内部情報(フレーム数、色空間情報、表示解像 度、表示アスペクト比、フレーム周波数等)を表示する領域

音声ストリーム・メタデータ概要

音声ストリーム内部情報(フレーム数、ビットデプス、チャン ネル数、サンプリング周波数、ビットレート、ラウドネス値 等)を表示する領域

分析結果と検査結果概要

使用テンプレートの仕様、エラー/警告/情報各々の内訳を表 示する領域

エラー/警告/情報 結果詳細

エラー/警告/情報 全てのリスト(該当検査番号、発生数、該 当サムネイル、発生箇所情報)を表示する領域

使用テンプレート詳細

使用テンプレートで実際に実施された検査項目リストを表示 する領域

2.3.4 一般仕様

包装内容

DVD ..... 1

- **3.** 検査を始める前に
  - 3.1 インストール

FS 3140 ソフトウェアには、下記コンポーネントがあります。

- a. FS 3140 コントローラ このコンポーネントは、Windows Service (FS 3140 Master Controller) として稼動し、Web GUI をホストする IIS 登録と API サービ スを含んでいます。このコンポーネントは、"Full Application " 選択時にインスト ールされされます。
- b. FS 3140 検査ユニット このコンポーネントは、Windows Service(FS 3140 Slave Controller)と実行(VU.exe)の両方が稼動するメイン QC エンジンです。 このコンポーネントは、"Full Application "、" Add-on Verification Unit "のどち らを選択してもインストールされます。
- c. FS 3140 トレイ このコンポーネントは、"Hot Folder "とサービスの状態を監視します。このコンポーネントは、"Full Application "選択時にインストールされます。
- d. FS 3140 シェル拡張 このオプションのコンポーネントは、FS 3140 のインスト ーラとは別にダウンロードされ、Windows Explorer から FS 3140 キューへのジョ ブ追加機能をクライアントマシンに供給します。
- e. Java このオプションのコンポーネントは、FS 3140 のインストーラとは別にダ ウンロードされ、クライアント側のブラウズコントロールを使用するクライアントマ シンにのみ必要です。(デフォルトで、FS 3140 の Web GUI は、サーバ側ブラウズ コントロールを使用します。)
- f. SOAP API デモ & ドキュメンテーション 高度な FS 3140 統合手引きとしての WSDL と API 使用のための C#サンプルです。"Full Application " 選択時にインス トールされ、ZIP ファイルとして "C:/Program Files (x86)/LEADER/FS3140" に 格納されます。
- g. FS 3140 Player FS 3140 Player プレイヤは、FS 3140 が検査可能なコンテナ ファイルを再生できるとともに、エラー位置でコンテナファイルを開くために検査結 果レポートのサムネイルとリンクしています。
- インストール作業は以下の手順で行ってください。
  - FS 3140 アプリケーションのインストール お手持ちの PC に付属の DVD-ROM から FS 3140 アプリケーションをインストール します。 【参照】「 3.2 FS 3140 アプリケーションのインストール 」
  - FS 3140 Player のインストール お手持ちの PC に付属の DVD-ROM から FS 3140 Player をインストールします。 【参照】「 3.3 FS 3140 Player のインストール 」
- 3.2 FS 3140 アプリケーション

可能であれば、ユーザーアカウント制御の設定で "通知しない "に設定してください。 "既定・プログラムがコンピューターに変更を加えようとする場合のみ通知する "状態であってもインストールを続行できますが、"通知しない "にすることをお勧めします。


設定前

設定後

"既定・プログラムがコンピューターに変更を加えようとする場合のみ通知する"に設定されている場合、特定コンポーネントのインストールを FS 3140 インストーラが妨害するかもしれないので、"通知しない"に設定することを強くお勧めします。

- 3.2.1 コントローラ・検査ユニットのインストール
  - **1.** DVD-ROMの "FS3140\_□.□.□□.□x64 "フォルダ内の "setup.exe " を実行します。

□:数値

インストールする場合は、Setup.exe を右クリックし、下図のように[管理者として実行]を選択す る必要があります。



また、Windows8 または、Server2012 では、FS 3140 のインストール前に.NET Framework 3.5 インストールの要件が提示されます。インストールを続行するには、この機能をインストールする必要 があります。



2. 下図の画面が表示され、インストールを継続するにはライセンス条項に同意が必要です。 また、この画面から PDF ファイルとしてライセンス条項を保存できます。



ライセンス承認後、インストールするプロファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。"Full Aplication "を選択すると、同じマシン上にコントローラと検査ユニットをインストールします。(ネットワーク上の任意の場所にインストールされた検査ユニットを使用することができます。)

"Add-on Verification Unit"を選択すると検査ユニットだけがインストールされます。 (このオプションは、コントローラサーバの場所を入力するように求められるので、完全 なアプリケーションを最初に別のコンピューターにインストールして実行する必要があ ります。)

希望のオプションを選択し、"Next "をクリックしてください。

"Full Application "を選択してインストールする場合は、このプロセスを持続させ、 "Add-on Verification Unit (VU) "を選択してインストールする場合は、「3.2.2 検 査ユニットの追加インストール」を参照してください。



4. インストール先設定ダイアログボックスが表示されます。

💱 Setup Wizard	
	FS 3140 のインストール先を設定します。
LEADER Technology Innovator	デフォルト:
ES 3140	" C:/Program Files (x86)/LEADER/FS3140 "
100140	"Install Default Templates "をチェックした場合、
Install To: C:\Program Files\LEADER\FS3140	<b>5</b> つのテンプレートがインストールされます。
Install Default Templates?	" Advance Options " をクリックすると、詳細オフ
	ション設定ダイアログボックスが表示されます。
	" Back " クリック → インストールするプロファイ
	ルの選択に戻ります。
Advanced Options Back Next	"Next"クリック → 次のセクションに進みます。

5. 詳細オプション設定ダイアログボックス

	"Report" 検査結果レポートを配置するフォルダパスを設定 します。尚、インストール後の設定変更はできませ
Report C:\inetpub\wwwroot\FS3140\Report	ん。 デフォルト: "C:/inetpub/wwwroot/FS3140/report"
Database Connection String: server=(local)\SQLEXPRESS; database=Aurora; User ID=sa; Password=Digimetrics1234; INTEGRATED SECURITY=TRUE;	"Database Connection String " データベース接続文字列が表示します。問題がある 場合は、サポートに連絡をお願いします。
Temp C:\Program Files\LEADER\F53140Comm Cancel Save	" Temp " 作業フォルダパスを設定します。検査進行中の検査 結果レポート作成場所です。
	"Canncel" クリック → 設定を破棄し、本ダイアロ グボックスを終了します。

- " Save " クリック → 設定を保存し、本ダイアロ グボックスを終了します。
- 6. FS 3140 サービスは、QC に必要なファイルが格納されているパスに到達するための認 証が必要です。



7. 必要な全ての条件が、自動的に FS 3140 ソフトウェアに加えてインストールされます。



 プログレスバー右側に "OK "ボタンが表示されたらインストールは完了です。
 FS 3140 を初起動する前には、インストールした PC の再起動をしてください。アップ グレード / アップデートの際は、PC の再起動は必要ありません。



9. web ブラウザを起動し、URL を次のように入力します。



**10.** User Name, Password に " admin " を入力、" Login " ボタンをクリックして FS 3140 ヘログインします。

LEADER FS 3140 F	Technology Innovator ile Based QC Solutions		
	User Name: Password:	"admin"	を入力

- 3.2.2 検査ユニットの追加インストール
  - 本プロセスでは "Add-on Verification Unit (VU) "を選択しますが、制御マシン上に FS 3140 のインストールをすることと変わりありません。



2. 次のステップはマスタ制御マシン(IP アドレス)の場所を尋ね、リモートマシン上で検査 ユニットを使用できるようにマスタ制御マシンを設定します。

tt Setup Wizard LEADER FS 3140	Technology Innovator
Install To: C:\Program Files\LEADER\F! Location of Master: 192.168.150.168	53140
	Back Next

- コンポーネントの大半をインストールした後、FS 3140 インストーラは、ライセンス状態をチェックします。FS 3140 のライセンスが存在していない場合、弊社から受取ったライセンスキーの入力を求められます。マスタ制御マシンから FS 3140 Web GUI の "Settings "タブを使用してライセンスを設定することができます。
- FS 3140 インストーラは、あらゆることに気をつけていますが、全てが正しく設定されていることを確認するには、マスタマシン上の FS 3140 アプリケーションを参照し、検査ユニットの総数が期待どおりの数であるか確認が必要です。(この数は、制御マシンの検査ユニット数と新たにアドオンしたマシンの検査ユニット数を含める必要があります。)



**FS 3140 Web GUI "Settings "**タブで、アドオンしたマシンが正しく表示されているかチェックします。

• ^4	f New Job Tampiate Editor	Smart Test Plan Settings L	u Out		-Line	H.	
rt up Ve	rification Unit						
·							
						1.4	
	TCP	127.0.0.1	0002	Autoratventiler		16.K.	( Inter
	TCP	102.158 D.1	0000	Aurizatviertier	.10	编集	Deter
	708			Auroral Sector		Till and	100

- 3.2.3 ソフトウェアライセンスのアクティベーション
  - 1. ライセンスの設定: FS 3140 Web GUI "Settings " タブをクリックします。



2. オンラインアクティベーション【デモ・商用ライセンス】の場合:弊社が提供する 34 文 字('-' を含む)のライセンスキーを入力し、"Activate " ボタンをクリックします。



3. アクティベーションが成功すると、"License Status "セクションにライセンス形態に あった表示がされます。

				商用ライ	センス:ラ	イセンス状態
age License	2					
HostName	Port Number	License Key	License tatus	Activate	Offline Request	Offline Activation

## 3.3 FS 3140 Player

- 3.3.1 インストール
  - **1.** DVD-ROMの "FS3140Player□.□.□□□.□ "フォルダ内の "setup.exe " を実行します。

□:数値

2. 下図の画面が表示されたら、"Next"ボタンをクリックします。



3. 下図の画面が表示され、インストールを継続するには "I Agree " にチェック 【ライセ

ンス条項に同意】し、"Next "ボタンをクリックします。



4. インストール先設定ダイアログボックスが表示され、FS 3140 Player のインストール 先を設定します。

13 FS3140 Player	
Select Installation Folder	FS 3140 Player のインストール先を設定します。
	デフォルト:
The installer will install FS3140 Player to the following folder.	" C:/Program Files (x86)/LEADER/FS3140 Player"
To install in this folder, click "Next". To install to a different folder, enter it below or click "Browse".	" Install FS3140 Player for yourself " :
	インストール対象の Windows 上のユーザー設定
Eolder: C¥Program Files¥LEADER¥FS3140 Player¥ Browse	"Everyone": ユーザー全員
	"Just me " : 自分自身のみ
Disk Lost	"Everyone "を選択することをお勧めします。
Install FS3140 Player for yourself, or for anyone who uses this computer:	" Cancel " クリック → インストールを中止します。
<u>E</u> veryone	<b>"Back"</b> クリック $\rightarrow$ 前のヤクションに戻ります.
⊘ Just <u>m</u> e	
Cancel (Back Next>	"Next"クリック → 次のセクションに進みます。 

5. "Next "ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



6. 下図の画面が表示されたら、インストール完了です。" Close " ボタンをクリックして、 FS 3140 Player インストールダイアログを閉じてください。

B FS3140 Player	
Installation Complete	5
FS3140 Player has been successfully installed.	
Click "Close" to exit.	
Please use Windows Update to check for any critical updates to the .NET Frame	ework.
Cancel ( <u>B</u> ack	Close

- 3.3.2 ソフトウェアライセンスのアクティベーション
  - 1. インストールした PC のデスクトップに下図のショートカットが作成されます。そのシ ョートカットをダブルクリックして、FS 3140 Player を起動します。



2. FS 3140 Player が起動したら、メニュー Options  $\rightarrow$  Setup で、Setup ダイアログ ボックスを表示させます。

7): FS3140 Player	- • ×
File View Options Help	
A Setup	
FS3140 License SDL Channel Map	
FS310 IP Address or machine name.	
Ok Cancel	
0	
FRMT PCT 8 PKT FRM GOP PTS DTS TCR	
China	
ide	

3. Setup ダイアログボックスの "Lisence " タブをクリックし、弊社が提供する 34 文字 ('-' を含む)のライセンスキーを入力し、" Activate " ボタンをクリックします。

😥 Setup	
FS3140 License SDI Channel Map	ライヤンスキー入力・34文字
Trial or license key:	
Activate Offling Request	
	"Activate " + + + + + + + + + + + + + + + + + +
Trial 63 days remain	Activate ホタン
	Ok Cancel

**4.** アクティベーションが成功すると、 部分にライセンス形態にあった表示がされます。

Trial or license key:	
Activate	]
Offline Request Offline Activation	デモライセンス:使用可能残日数
	問用フィセンス:フィセンス状態

- 3.3.3 FS 3140 とのリンク設定
  - 1. FS 3140 Player を起動し、メニュー Options  $\rightarrow$  Setup で、Setup ダイアログボッ クスを表示させます。

<b>31</b> ESS	140 Play	er			
File	View	Options	Help		
				Pasitive Loonse SUL Channel Map	
				FS3140 IP Address or machine name	
				Uniter Conter	
0-					
FRMT	_	ест	X per		
	-			Video Audio Ancillary Data Program	
0	U I		)		Y
Idle					

2. FS 3140 の検査ユニットがインストールされた先の IP アドレスを 部分に入力し、 下部の "OK "ボタンをクリックします。

👔 Setup
FS3140 License SDI Channel Map
FS3140 IP Address or machine name:
Ok Cancel

検査ユニットの IP アドレスを確認するには、「 5. ユーザーインタフェース 」の タイトルバーを参照願います。

3.4 アンインストール

インストールした FS 3140 アプリケーション、FS 3140 Player のアンインストールする手順は、下記のとおりです。

- 1. スタートメニューからコントロールパネルを開きます。
  - i) コントロールパネルウィンドウ上部に表示されている "コントロールパネル " 右 側の ▶ をクリックして、" すべてのコントロールパネル項目 " を選択します。
  - ii) 続けて " すべてのコントロールパネル項目 " 右側の ▶ をクリックして、" プログラムと機能 " を選択します。



2. リストに表示される下記の6種類を



ダブルクリックし、アンインストール確認ダイアログウィンドウが表示された場合は、 "はい"をクリックして、順番にアンインストールしてください。

- 4. 起動
  - 4.1 管理者としてログインする方法

Web ブラウザを起動して、FS 3140 がインストールされたマシンの IP アドレスに続いて "/FS3140 "を開きます。

例:http://192.168.150.10/FS3140 <リモート環境の場合> http://localhost/FS3140 <ローカル環境の場合>

ユーザー名とパスワード双方共に、"admin "と入力します。 FS 3140 を使い始める準備が整いました。

4.2 新たにユーザーを設定する

FS 3140 インタフェース上部にある "Settings" タブの中に、ユーザー管理機能があり、FS 3140 におけるユーザー権限を設定できます。

t up Verification	Unit										
Protoc	Protocol Name HostName			Port Number Service Name			Edit		Delete		
T	CP	127.0.0.1	9002	F	FS3140Verifier	12	HA	1	Delete		1
Te	CP		1	,	S3140Verifier		10	Add			
HostName Ns	Port imber	License Key	Lic	ense Status	Activate	0	ffline Request		Offline Activa	tion	
HostNome No 127.0.0.1 9	Port Imber	License Key	Lic Triat 8	cense Status 19 days remain	Activate		filine Request		Offline Activa	ntion	
HostName No 127 0.0.1 9 anage User	Port mber	License Key	Lic That 8	cense Status 19 days remain	Activate	c	ffline Request		Offline Activa	ation	
HostName No 127.0.0.1 9 anage User User Name	Port mber 002	License Key	Lic Triat 8	cense Status 19 days remain Last Name	Activate Activate	a	Mine Request	Notification	Offline Activa Activate	ation	Edit
HostName N 127.0.0.1 9 anage User User Name Admin	Port mber 0002	License Key Password admin	Lic Trat 8 First Name Autora	ense Status 19 days remain Last Name Admin	Activate Activate Ema	a	Mine Request	Notification Every job	Offline Activa Admate	ntion 全部 Active True	Edit

- 1) "User Name": ユーザーがログインする時に使用する名前を入力します。検査ユニ ットのログに記録されます。
- 2) "Password": 上記のユーザーのためのパスワードを入力します。シンボル、文字、 数字を組合わせて使用できます。
- 3) "First Name": ユーザーの名前を入力します。
- 4) "Last Name": ユーザーの姓名を入力します。
- 5) "Email": ユーザーのEメールアドレスを入力します。
- 6) "Email PDF?": Eメールに PDF 形式の検査結果レポートを添付するかどうかを設定 します。【Yes 添付する, No 添付しない】
- 7) "Notification": ジョブ完了後にユーザーへ通知されるべき内容を選びます。
  - a) "None "(通知しない)
  - b) " Every Job " (全ジョブについて通知する)
  - c) "Only Jobs with Errors "(エラーが発生したジョブについては通知する)
  - d) "Only Jobs with Warnings" (警告が発生したジョブについては通知する)
- User Type ": ユーザーの種類には "Admin" (管理者)または、"General" (一般) の2種類があります。"Admin"ユーザーにはユーザー管理や検査ユニットの設定などの、FS 3140 を管理する全権限が与えられます。"General"ユーザーはジョブの追加 やテンプレートの作成と編集を行えるだけに制限されます。
- 9) "Active": ユーザーが現時点でアクティブなユーザーであるかどうかの情報です。2

つの状態【"True"(アクティブ)、"False"(非アクティブ)】があります。アクティブ の状態を変更するには、"Edit"の"編集"をクリックしてください。

- **10) "Edit ": "**編集 **"** をクリックして、ユーザーの **"Active "** 状態を含む全ユーザー情報を編集できます。
- 11) "Add ":新規ユーザーのために全フィールドを入力した後、このボタンをクリックしてユーザーを "Active "状態に追加します。

"testuser"は、品質検査における問題をデバックするために用いられます。"testuser" でログインした場合、テンプレート検査毎に CSV ファイルが作成されます。このため、動 作が遅くなる可能性があります。

#### **4.3 FS 3140 Tray**アプリケーション

FS 3140 Tray アプリケーションは、主に診断のために使用されます。更に本アプリケーショ ンはジョブまたは、マシンに問題が起きても、"FS 3140 サービス "【コントローラ】と" Verifier "【検査】が実行し続けるようにします。サービスを停止する必要がある場合は、トレ イアプリケーションからサービスを停止させてください。(Windows のサービスマネージャか ら "FS 3140 サービス "を停止させると、トレイアプリケーションが再起動し続けてしまい ます。)

FS 3140 Tray アプリケーションの起動・終了は、スクリーン右下にあるアイコンの右クリック で行います。



サービスの停止方法

• Master Controller

"Master Controller " タブをクリックします。

本画面にて、Stop Service ボタンをクリックしサービスを停止します。サービスを再開 する場合は、Start Service ボタンをクリックします。

**\_\_\_\_\_** Stop Service ボタン

\_\_\_\_\_ Start Service ボタン

LEADER FS 3140	
ar More Andre Same Gandar	instates More Centrelle (Stee Controlle) Master Controller Events
No forms Paulant Series Related Family Navio Carteline Series in Parents	February February Master Controller Service as Desped
Age Garvier Petrick Earrier Petrick Earrier Master Cartolie Santes in Runner (************************************	
No Service Present Services Present Service In Proceed Present Service In Proceed Present Service In Proceed Present Service In Proceedings International Proceedings Internationa Proceedings Internat	International Acade     Analysis and an analysis and an analysis and an analysis and analysis analysis analysis analysis analysis analysis analysis analysis
Description         Description         March Lines:         Name         Name <th< td=""><td>Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date         Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date         Date         Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date</td></th<>	Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date         Date         Date         Date           CPV (pr.         Date         Date         Date         Date         Date         Date           CPV (pr.         Date
Desire         Desire         March Lent.         March Controls         Name           10 [dir         Des         March Controls         Name         N           10 [dir         Des         March Controls         Name         N           10 [dir         Des         March Control         Name         N           10 [dir         Des         Des         Des         N           10 [dir         Des         Des         Des         N           10 [dir         Des         Des         Des         Des           10 [dir         Des         Des         Des         Des         Des           10 [dir         Des         Des         Des         Des         Des         Des           10 [dir         Des         D	Line         Description         Report Control Service in Transport           Control         One         Report         Report           Control         Report         Report         Report         Report
Bears         Bears         March Server           Yey Sor         Des         March Constant Server a Narrez           Yey Sor         Des         March Constant Server a Narrez           Yey Sor         Des         March Constant Server a Narrez           Yey Sor         Des         Server a Narrez           Yey Yey Yey Sor         Des         Server a Narrez           Yey	Image         Image           Entry         Sea           Control Searce II Specific         Manage
Name         Person Server         Name         Name         Name         - • •           Normal         - • •         Name         Name         - • •         - • •           Normal         - • •         Name         Name         - • •         - • •           UNUT/2 VE ET1815         Andrea da Maler and Aller and Charge Addresson UTS111050000111211         - • •         - • •           UNUT/2 VE ET1815         Andrea da Maler and Aller and Charge Addresson UTS11105000011211         - • •         - • •           UNUT/2 VE ET1815         Andrea da Maler and Aller and Charge Addresson UTS11105000011212         - • •         - • •           UNUT/2 VE ET1815         Andrea da Maler and Charge Addresson UTS11105000011212         - • •         - • •         - • •           UNUT/2 VE ET1815         Andrea da Maler and Charge Addresson UTS11105000011212         - • •         - • •         - • •           UNUT/2 VE ET181         Andrea da Maler and Charge Addresson UTS11105000011212         - • • •         - • • • •         - • • •           UNUT/2 VE ET181         Andrea da Maler and Charge Addresson UTS11105000011212         - • • • •         - • • • •         - • • • • •           UNUT/2 VE ET181         Andrea da Maler and Charge Addresson UTS11105000011212         - • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	Line Control Line:      Line Control Line:      Line Control Line:
Research Genesis         Person Densis         Marcine Conclusion Densis on Researce           Torgen         Gene         Marcine Conclusion Densis on Researce           Optimizer         Gene         Marcine Conclusion Densis on Researce           Optimizer         Gene         Gene         Marcine Conclusion           Optimizer         Gene         Gene         Gene         Gene           Optimizer         Gene         Gene         Gene         Gene         Gene           Optimizer         Gene	Interface         Name         Name           Conversion         Conversion         Name         Name           Conversion         Conversion         Conversion         Name           Conversion         Conversion         Conversion         Name           Conversion         Conversion         Conversion         Name           Conversion         Conversion         Conversion         Conversion
Benerik     B	Event Line:     Event Line:     Mayer Question Evens & Enged      Event     Event
Person Terrers         Person Terrers         March Conclusion Service in Review           Data Conclusion         Des         March Conclusion Service in Review           Determine         Children March 20 Million parts Character 2011/01/2014/02/011021         Des           Difference         Children March 20 Million parts Character 2011/2014/02/011021         Difference           Difference         Children March 20 Million Parts Children 2011/2014/02/011021         Difference           Difference         Children March 2011/2014/02/01101         Difference           Difference         Children March 2011/2014/02/01101         Difference           Difference         Difference         Children March 2011/2014/201101         Difference           Difference         Difference         Children March 2011/2014/201101         Difference           Difference         Difference         Difference         Difference         Difference           Difference         Difference         Difference         Difference         Difference         Difference           Difference         Difference         Difference         Difference         Difference         Difference           Difference         Difference         Difference         Difference         Difference         Difference         Difference         Difference	Interfact         Native Controls Servers to Depend           Control         Desc         Desc         Desc           Control         Control         Desc         Desc           Control         Control         Desc         Desc           Control         Control         Desc         Desc           Control         Control         Desc         Desc           Control         Desc         Control         Desc           Control         Desc         Desc         Desc           Control         Desc         Desc         Desc         Desc           Control         Desc         Desc         Desc         Desc         Desc           Control         Desc         Desc         Desc         Desc         Desc           Control <t< td=""></t<>

サービス稼働中

サービス停止中

#### • Slave Controller

"Slave Controller " タブをクリックします。

本画面にて、**Stop Service** ボタンをクリックしサービスを停止します。サービスを再開 する場合は、**Start Service** ボタンをクリックします。



## 4.4 FS 3140 終了

**FS 3140** を終了する時は、"Log Out "タブをクリックしてから、ブラウザまたは、ブラウザ のタブを閉じてください。



5. ユーザーインタフェース

FS 3140 は簡単に使用できるようデザインされています。直接的かつ論理的なインタフェースは、検査プロセス全体を単純かつ合理的にいくつかのエリアに分けられています。

	LL FS	31		<b>R</b> Tec File Ba	hnology	Innovator Solutions		Version: 4.1.777.2 Verification Units in Use 0/2 Harding FPA Units: 0/0 VU mode: Multi-core CUDA Cards: 0
Home	Add New Job	Template Editor	Smart Test Plan	Settings	Log Out	7		
	•••••	Ł	2	•••••			3	

● タイトルバー ・・・ ① タイトルバーをクリックすると " About " ボックスが開き、マスタコントローラ・サー バのバージョンや IP アドレスなどを確認できます。

	👌 :: FS3140 Verifier - About :: - Windows Interne
C In 1231 an work of A walk (2) will share to prove the "when the state ACCART F124 AT In ACCART F124 AT In ACCART F124 AT INFORMATION CONTRACT AND A AT IN IN F1231 AT 124 Atoms ALL ACCESS (Descendes Control Dependent Annuelle	LEADER FS3140 Pro 4.2.855.4 ← FS 3140 Version 192.168.2.33 ← 検査ユニットの IP アドレス
Serger Lange 2002 11     Serger Lange 2002 12     Serger Lange 2004 2014 2014 2014 2014 2014 2014     Serger Lange 2014 2014 2014 2014 2014 2014     Serger Lange 2014 2014 2014 2014 2014     Serger Lange 2014 2014     Serger Lange 2014 2014     Serger 2014 2014     Serger 2014 2014     Serger 2014 2014     Serger 2014     Serger 2014 2014     Serger 2014     Se	FS3140 is trademark LEADER Electronics Corp. Digimetrics Aurora is copyright DCA, Inc. 2008-2013. For support, please contact <u>is3140_support@leader.co.jp</u>
Protection and events in transmission of the second s	
okusta	

● タブバー ··· ②

FS 3140 のメインナビゲーションで、ジョブの追加、検査テンプレートおよび、プランの編集、アプリケーション設定の修正など、いくつかのキーとなる作業を行うことができます。

ステータスバー ・・・ ③ FS 3140 Version
 Version: 4.2.858.1
 Verification Units in Use: 0/1
 Harding FPA Units: 0/0
 VU mode: Multi-core
 GPUs Available: 0
 MXF Deep Analysis: Off
 GPU 有/無
 MXF Analysis オプション 有/無

ライセンスオプションがインストールされているか、利用可能な検査ユニットの数などの状態が表示されています。

- 5.1 タブの概要
  - "Home" タブ:システムのダッシュボードビューが表示され、FS 3140 にログイン すると最初に表示されるページです。
  - "Add New Job" タブ:検査をジョブに使用するテンプレート選択、コンテナ選択、 検査ストリーム選択の3つのステップで開始するページです。
  - "Template Editor "タブ:検査処理によって望みどおりのエラーまたは、警告が検 出されるようにパラメータを指定して、テンプレートを作成・編集するページです。ペ ージ右上部で既存のテンプレートを選択して希望のパラメータに調整したり、新規に テンプレートを作成することもできます。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* テンプレートのパラメータ \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

パラメータは、"Stream Summary"(ストリームの概要)、"Syntax Check"(構造 チェック)、"Container Metadata"(コンテナ内部情報)、"Video Metadata"(ビ デオ内部情報)、"Video Quality"(ビデオ品質)、"Audio Metadata"(オーディオ 内部情報)、"Audio Quality"(オーディオ品質)、"Distribution/Broadcast"(配信 /放送準拠)、"Slate/Head"(特定の配信システム準拠)を含むいくつかのカテゴリに 分けられています。特定のニーズに対して、これらのパラメータが最適な設定を得ら れるようにするためには、テンプレートでの実験が数日必要となるかもしれません。 \*\*\*\*\*\*

- "Smart Test Plan " タブ:自動的に検査テンプレートを選択するルールを構築する 際に使用するページです。
- "Settings " タブ: 検査ユニットの設定やユーザー管理、" Hot Folders " の管理、 ユニバーサルタイムコードの設定を行う際に使用するページです。
- "Log Out" タブ:このタブをクリックすると、FS 3140 システムのログオフができます。
- 5.2 タブの詳細

5.2.1 "Home" タブ

ĻĻ		DEF	Technology	Innovator Solutions				Version Verifica Harding VU mos GPUs A MXF De	: 4.2.855.4 tion Units in Use: 0/ 3 FPA Units: 0/0 de: Multi-core vailable: 0 sep Analysis: Off	2
Home Arthur 300 In Process Job ID	Date/T	H1 est Plan	H2 H3 Container	Template	E W	Time H8	Remaining	ſ	Progra	-18 
Completed Jobs	Job ID	Date/Time Comp	piete	Container	по	Templat			Duration Proj	Older Jobs gress User
n ∧ o O P	40071	2013/05/10 11:21:30 2013 H8	TS HE	_BG1_10.mpg	. H8	Janan Broadcast no FPA	H7	0 00:0	01:38 100% 02:42 100%	Agrin
A ○ O ►	40070	2013.00.07.13.00.45	TSomerom	BG1_10.mpg		Hurd-Perception	117	0 02:	32:32 100%	Admin
	40069	2013/05/09 13:10:12	T534-4_YOK0	LISS_HD1_BG1_10.mpg		BlackLine	1	0	H8 100%	Admin
	40068	2013/05/09 11:56:51	1534-4_TORC	USS_HD1_BG1_10.mpg		Tapernt-All	1	0 00-	16-58 100%	Admin
	40064	2013/05/09 11:37:04	T\$34-4_YOW	USS_HD1_BG1_10 mpg		ContractiveErame	1	0 00:	05-58 400%	Admin
	40065	2013/05/09 10:48:42	T534-4 YOK	USS HD1 BG1 10.mpg		Macroblocking	2	0 00:0	02:59 100%	Admin
L O O D	40064	2013/05/09 10:34:11	T534-4 YOK	ISS HD1 BG1 10.mpg		Video-Meta	2	0 00:0	08:49 100%	Admin
■ 人 o 🖸 🕨	40062	2013/05/09 9:38:28	T534-4 YOK0	ISS HD1 BG1 10.mpg		Container-Meta	1	0 00:0	02:42 100%	Admin
LOB L	40061	2013/05/09 8:59:48	T\$34-4 YOK0	ISS HD1 BG1 10.mpg		Syntax-Container	0	0 00:0	02:42 100%	Admin
B 🙏 🖓 🔂 🕨	40060	2013/05/09 8:54:31	T534-4_Y0K0	ISS_HD1_BG1_10.mpg		Syntax-Codec	0	0 00:0	02:46 100%	Admin
D 从 🛛 🖸 🕨	40059	2013/05/08 18:54:40	T534-4_YOK0	_ISS_HD1_BG1_10.mpg		Japan Broadcast	LI7	00:3	27:37 100%	Admin
) 人 ② 🖸 🕨	40058	2013/05/08 11:30:45	Aladdin_trail	er_ATT.ts		TapeHit	п/	00:0	00:23 100%	Admin
• 从 🛛 😫 🕨	40057	2013/05/08 11:26:32	The Grinch_0	1052904.mov		TapeHit	1	0 00:0	00:20 100%	Admin
🛚 冯 🛛 🔂 🕨	40056	2013/05/08 11:21:23	R128_test_2.	nođ		Audio-Test		00:0	00:12 100%	Admin
№ 0 0 №	_	4 /08 10:57:52	Aladdin_trail	er_ATT.ts		V-Quality	H7	00:0	00:42 100%	Admin
Job ID		Date/Time Complete	пэ	Container	Template	E W	Н7		Progress	User User
Aborted, User	_	其 Нб		Container	Template	EW	Duration		Progress	Older Jobs User
Aborted, Application				Annthian	-					Older Jobs

**FS 3140** にログインすると、システム全体のダッシュボードビューとして、**"Home "**タブ と共にアプリケーションが開きます。全てのジョブは、以下のように色分けされます。

- ・青【まだジョブがスタートしていない】
- ・緑【問題なしまたは、テンプレートイベントによってインフォメーション項目のみが発生】
- ・黄【テンプレートイベントによって、警告が発生】
- ・赤【エラー、テンプレートイベントもしくは、検査不能によってエラーが発生】

ダッシュボード

H1 "In Process": 数に制限なく処理中のジョブを確認できます。処理中にあるジョ ブにおいて、その時点までに発生したイベントをレポートで確認したり、強制的に中 止させることも可能です。中止されたジョブは、H5の "Aborted User "へ移動されます。

- H2 "In Queue":数に制限なく待機中のジョブを確認できます。このリストにあるジョブは常に青になっており、左側にあるコントローラを使って順番を変えたり、ジョブを一時停止させたりできます。また、項目下の下にあるコントローラで、順番待ちの全ジョブのキャンセル・一時停止が可能です。
- H3 "Completed Jobs":最大 20 個の完了したジョブを確認できます。これらのジョ ブは品質検査プロセスが正常に完了したもので、検査結果レポートの確認、別テンプ レートでの再検査、検査コンテンツの再生制御、リストからのジョブ削除ができます。
- H4 "Aborted, Template": 最大 20 個のテンプレートによって中止したジョブを確認 できます。このリストには、テンプレートの閾値によって中止したジョブが表示され ます。
- H5 "Aborted, User": 最大 20 個のユーザーによって中止したジョブを確認できます。 このリストには、Web インタフェースまたは、API 経由で、ユーザーによって中止し たジョブが表示されます。
- H6 "Aborted, Application":最大 20 個のアプリケーションによって中止したジョブ を確認できます。このリストには、FS 3140 が処理できなかったジョブが表示されま す。
- H7 "Older Jobs ": 20 個以上のジョブを確認したい場合にクリックしてください。デ ータベースにある特定のカテゴリに属した全てのジョブを新しいウィンドウで表示し ます。
- H8 アンダーラインがあるタイトル【" Job ID ", " Date/Time Complete ", " Container
   ", " Template ", " E ", " W ", " Duration ", " User "】: クリックすることで、リ ストをソートすることができます。
- ダッシュボードのボタン
  - 👩 検査結果レポートを HTML 形式で開きます。
  - ▶ 検査結果レポートを PDF 形式で開きます。HTML 形式の検査結果レポートと全く同じ 内容です。
  - 同じコンテナファイルとテンプレートを指定した状態で、"Add New Job" タブを 開き、ファイルに対して簡単に再検査を行うことができます。
  - 🔺 待機中にあるジョブの順位を上げられます。
  - 💎 待機中にあるジョブの順位を下げられます。
  - 🕕 待機中にあるジョブの状態を一時停止にしたり、待機に戻したりすることができます。
  - 処理中または、待機中にあるジョブを中止させます。既に完了しているジョブの場合は、システムから削除できます。
  - 完了したジョブにあるコンテナファイルを、レビューするために FS 3140 Player で 開きます。

#### 5.2.2 "Add New Job " タブ

"Add New Job "タブは、手作業で新たなジョブをセットアップする場所です。多くのユ ーザーは、"Fot Folders"または、WSDLベースの SOAP API を経由して、自動的にジョ ブを実行するインタフェースを選択すると思いますが、FS 3140 にはジョブを手動で作成で きるようにしています。 5. ユーザーインタフェース

Horn Add New Jab Tampian Ex	Technology Innor File Based QC Solu for Smat Test Plan Setting Log Out	Variani 4,2453,4 Verification thate in Use: 0/2 Handing FM Lobits: 0/0 Will mode Hulls core DPUs Available: 0 HOUT Deep Availyeis: 0ff Autions
	Step 1	Step 2

- ステップ1 検査に使用するテンプレートを選択します。▼をクリックして、リストから テンプレートを選択してください。テンプレートを選択した後、テンプレー トに含まれる検査内容が *<sup>()</sup>* 部分に表示されます。テンプレートリストに は、頭文字が "ST\_ "のスマートテストプラン、個別のテンプレートが含ま れます。
- ステップ2 このステップで検査するコンテナファイルを選択します。"Browse" ボタ ンをクリックして、ブラウズコントロールからコンテナファイルを選択しま す。選択後、"Use File " ボタンをクリックして、検査するコンテナファイ ルを確定します。

Loon an	d:\DEMO-CONTENTS\MPEG-2	¢ 0	
🗾 TS34-	-4_YOKO_ISS_HD1_BG1_10.mpg		
🗾 TS35-	-1_HAKO_DVB_HD1_BG2_10.mpg		

ステップ3 – ジョブを追加する最後のステップで、検査するストリームを選択して"Home "タブのページに戻るか、続けて別のコンテナファイルを選ぶか選択してく ださい

Step 1		Step	2		
(>1) TEMPLATE		R			
Japan Broadcast	111111		Breast 13		
	Salarta	A File : (1)DEMOLCON	ENTRAIPED 2TR34.4	YOKO ISS HT	1 801 10 mm
PoeRal No		a rine ra o pino o orie	Contraction -	1010200210	-Tool-touch
PeetRat No					
SpotCheck(NuSpotCheck) : 0.030.0					
WarnegUntiOccurrences 0					
EmorUntiPOccurences - 1	100	e File			
AbonAfterDocurences 0 TestSizoTestAfterDocurences 100	una roa				
BackLovel : 16	1				
WhiteLevel 235					
[101] Calculate Stream Summary					
[102] Guick Scan	Step 3				
[200] Codecs (MPEG-2, AVC, VC-1, AC-2)					
[366] Containers (Transport, Program Stream)	(>3) STREAMS				
(2034) Color Gamat Legality: Low Luma value -1 High Luma value 103 Low Chroma value -5 High Chroma value 105	0				
[400] Closed Captions (CEA 608/708, ATSC53, SCTE20)	-		120300	in l	Ph
[4002.001] Consecutive Frames Max Black Frames 1 (Audio silence must be present for event to const.)	OC Allinone	30.9479	Codec	110	HUDDING
14002-0031 Consecutive Frames. Max France Trames. 1 Guide shore must be present	<u>(8</u> )	Stream #0	MPEG Video	320	00:10:00.400
for error to occur)	2	Stream #1	AAC	321	00.10.00.465
[4003] Flash Detection (Harding Compliant)					
[8003.004] Audio Loudress Detection (Target -23 Spread(+1) 0.5 window 400	Add tob & Datum Mr.		Canal Manual Add		
[7685] ISDB.T Video Format	ADD JOD & HETUTI HO	A00 JOD 8	A Start New Job		

ストリームリストの左側にチェックボックスがありますので、検査するストリームをチェックし、ジョブ追加を完了させるために、ボタン① (ジョブを追加して "Home" タブのペー

ジに戻る)または、ボタン② (ジョブを追加して続いて新たなジョブを追加)をクリックして ください。

5.2.3 "Template Editor " タブ

"Template Editor "タブで、独自のワークフローに必要とされる検査プロセスをカスタマ イズすることができます。FS 3140 には標準でいくつかのテンプレートを用意しています。

- "Quick Scan": ファイルとコーデックのヘッダをスキャンして、ストリームの概要 情報をレポートします。
- "Stream Summary Only": ファイルヘッダとストリームをデコードしてスキャン した結果の全ストリーム情報をレポートします。
- "Codec and Container Syntax": ストリームの概要と、コンテナおよび、ストリーム上の構造をチェックしてレポートします。
- "Quality Test": ストリームの概要とビデオ品質および、オーディオ品質セクショ ンにリストされた多くのアーティファクト(ノイズ・異常)をチェックしてレポートし ます。
- "Tape Ingest": ストリームの概要とテープインジェスト時に発生しうるアーティフ ァクトをチェックしてレポートします。
- "Film\_Analog Ingest": ストリームの概要とフィルムやアナログ媒体からのインジ ェスト時に発生しうるアーティファクトをチェックしてレポートします。
- **"ATSC Broadcast ": ATSC** オーディオとビデオ配信への準拠、A/85 ラウドネス計 測を検査します。
- "CableLabs VOD": CableLabs VOD 配信への準拠を検査します。
- "DVB-T Broadcast": DVB-T(ETSI 101 290 を含む)配信への準拠、R128 ラウド ネス計測を検査します。
- "Japan Broadcast": ISDB-T 配信への準拠(ARIB STD-B10)、ARIB TR-B32 ラ ウドネス計測を検査します。
- "UK Broadcast": DVB-T(ETSI 101 290 を含む)配信への準拠、R128 ラウドネス 計測、ガマットの合法性、PSE/フラッシュを検査します。



ファイルタイプ毎に必要とされる検査項目をまとめて、とてもシンプルな作成手順でテンプ レートを新規に作成することができます。

T1 "Default": セクションでは、検査項目の設定を適用させる範囲の標準値を定義することができます。

**T1-01** " Pre Roll ": 検査の開始前にスキップさせる時間設定です。

- T1-02 "Post Roll": クリップの終わりから後ろをスキップさせる時間設定です。
- **T1-03** "Spot Check": クリップの一部を検査させる時間設定です。設定の種類は 下記のとおりです。
  - i) "Read Entire File " クリップ全体を検査します。
  - ii) "Start, Mid & End " クリップの始め・中間・終わりを検査します。
  - iii) "Start Only " クリップの始めのみ検査します。
  - iv) "Mid Only " クリップの中間のみ検査します。
  - v) "End Only " クリップの終わりのみ検査します。
  - vi) "Start & End Only "クリップの始め・終わりのみを検査します。
- T1-04 "Test Report As Information Until": 全検査項目は、ここに入力された 数のイベントまでを情報としてレポートします。この値を"-1"に設定す ると常に情報としてレポートします。
- T1-05 "Test Report As Warning Until ": 全検査項目は、ここに入力された数の イベントまでを警告としてレポートします。この値を "-1" に設定すると 常に警告としてレポートします。
- **T1-06** "Test Report As Error Until": 全検査項目は、ここに入力された数のイベ ントまでをエラーとしてレポートし、ます。この値を"-1"に設定すると 常にエラーとしてレポートします。
- T1-07 "Abort Report After": この数を超える検査イベントが発生したら、ジョ ブを中止してレポートを作成します。
- **T1-08** "Tests Stop Reporting After": この数の検査イベントが発生したら、 FS 3140 はレポートにインスタンスを追加することを止めます。
- **T1-09** "Default Black Level": 標準のブラックレベルを Decimal で設定します。
- T1-10 "Default White Level": 標準のホワイトレベルを Decimal 設定します。
- T1-11 "Avg Loudness for Rpt Summary": 検査結果レポートの "Stream Summary" に表示されるラウドネス規格を選択します。この値を設定して も、ラウドネス検査がテンプレートに追加されるわけではなく、レポート項 目が追加されるだけです。
- T1-12 "Title Card Location": タイトルカードのサムネイルをキャプチャするオ プション項目です。検査結果レポートでデジタルメタデータの次にこのビジ ュアルメタデータが表示されます。
- T2 "Stream Summary": 完全なストリームの概要または、"QuickScan "の概要を 選択することができます。"QuickScan"は他の検査を無効にし、コンテナとコーデ ックのヘッダのみを調査して、シンプルなストリーム概要を返します。
- T3 "Syntax Checks": コンテナやコーデック、キャプションデータの構造に関連した検査です。
- **T4** "Container Metadata": トータルのビットレートや、ストリームに含まれるコー デックとコンテナの内部情報に関連した検査です。
- **T5 "Video Metadata ":** 一般的にシーケンスのレイヤまたは、ヘッダにあるビデオの 内部情報に関連した検査です。
- **T6 "Video Quality "**: マクロブロックやインタレースのノイズ、黒帯、フリーズフレ ーム、カラーバーなどの項目をビデオフレームを実際にデコードして検査します。
- **T7** "Audio Metadata": ヘッダから得られるオーディオの内部情報に関連した検査です。
- T8 "Audio Quality": 無音やレベル、ノイズなどの項目をオーディオサンプルまたは、

フレームを実際にデコードして検査します。

- **T9** "Distribution & Broadcast ": ATSC や DVB-T、CableLabs VOD、iTunes など、 一般的な配信や放送における制約事項をグループ化した検査です。
- **T10 "Slate/Head ":** 定義したアイテムがコンテンツ内に存在しているか検査し、存在 しなかった場合にエラーとなります。
- ★ テンプレートの作成ステップ
  - ① **"Tempalte Editor "**タブをクリックしてください。
  - ② テンプレートカテゴリから追加したい検査項目を選択し、既存値のまま検査項目を 追加する場合は、"Add Test with Defaults "をクリック、設定を変更して検査項 目を追加する場合は、" Modify Test Defaults "をクリックします。

ł	Calculate Stream Summary 101 @
	Add Test With Defaults Modify Test Defaults Remove Test
	Quick Scan 102 C
Ī	Add Test With Defaults Modify Test Defaults Remove Test

"Modify Test Defaults "をクリックすると、下図の別ウィンドウが表示されます。

Pre Roll Post Roll Spot Check Test Report Test Report Abort Report Test Stop R Default Bla Default Wh	HRS         MIN         SEC           001         001         001         001           001         001         001         001           Read Entire File         001         001         001           001         001         001         001         001           Read Entire File         001         001         001         001           Color         001         001         001         001         001           As Information Until         As Error Until         001 <th>MSC 000 000 000 000 000 000 000 0</th> <th>Test will not be run during these times. Preroll counts from the Pest roll counts from the end of the clip. Test will only run for the sections and time defined. ccurrences (then Warnings) ccurrences (then Errors) ccurrences (then Abort) ccurrences ccurrences</th>	MSC 000 000 000 000 000 000 000 0	Test will not be run during these times. Preroll counts from the Pest roll counts from the end of the clip. Test will only run for the sections and time defined. ccurrences (then Warnings) ccurrences (then Errors) ccurrences (then Abort) ccurrences ccurrences
---	---	---	---

③ テンプレートに検査項目を追加すると、エディタ右側に検査項目リストが構築され ます。

Select New Save Save As Delete Import Export	
X 101 - Calculate Stream Summary	
X 102 - Quick Scan	

検査項目リスト左側のXマークをクリックで、削除ができます。

④ 検査項目を追加してパラメータを設定したら、エディタ右側の "Save As"(名前

をつけて保存)ボタンをクリックします。

Select		•
New Save	Save As Delete Import Export	
_		_
X 101 -	Calculate Stream Summary	
	0.110	
X 102 -	Quick Scan	

 ⑤ ファイル名入力ウィンドウが表示されるので、テンプレート名を入力して "Save" ボタンをクリックします。

Save As?	×
🖪 Please p	rovide a name for the template:
	Save Cancel

- ★ 検査ファイルからテンプレートの作成
  - ① **"Add New Job "** タブをクリックしてください。
  - ② テンプレートリストにある "Genarate Output Template "を選択してください。

	Step 1	
>1 TEMPLAT	E	
LEADER Electronics Corp	Select DVB-T Broadcast Film_Analog Ingest IntraFrame Trunes Japan Broadcast no FPA MacroblockCheck MacroblockCheck MacroblockCheck MacroblockIng Netflix Citest_ARIB Citest_ARIB Citest_ARIB Citest_ARIB_No-Title-Card Citest_ARIB_No-Title-Card Citest_ARIB_No-Title-Card Citest_ARIB_No-Title-Card Citest_ARIB_No-Title-Card Citest_ARIB Citest_ARIB Citest_ARIB Citest_ARIB Citest_ARIB Citest_ARIB Citest_ARIB Syntax-Container Tape hit only Tape Ingest TapeHit_AII UK Broadcast Video-Meta VideoQualityCheck VideoQualityCheck01 V Coulity Check01 V Coulity Citest_ARIB Citest_ARI	
	XDCAM Generate Output Template	÷

- ③ 作成したいテンプレートの基礎となるファイルを選択してください。
- ④ FS 3140 はスキャンが完了次第、このファイル用のストリーム概要レポートを作成し、コンテナファイル名がつけられたテンプレートがテンプレートリスト内に表示されます。このテンプレートには、コンテナファイルから得ることのできた全パラメータから測定された値が含まれています。

- 5 ユーザー個別の状況に対して完全に適応できないため、検査の削除や修正などはテ ンプレートを編集してください。
- ★ テンプレートのインポート / エクスポート
  - ① "Export" ボタンを使って、XML 形式のファイルとしてテンプレートを出力する ことができ、別の FS 3140 システムに移行することが可能です。

Select			•
New Save Save As	Delete Impo	ort Export	

② "Import" ボタンを使って、XML ファイルとなったテンプレートを読込むことが できます。



③ XML テンプレートファイルは、FS 3140 Template XML スキーマに準拠していな くてはなりません。

#### 5.2.4 "Smart Test Plan " タブ

いくつかの異なるファイルや配信用途のために数種類の検査テンプレートを作成し、 "Smart Test Plan"を使用して、入ってきたファイルの特長に応じたテンプレートを、FS 3140 が自動的に選択するように設定できます。基本的に "Smart Test Plan" では、テン プレートを選択するために「もし~ならば~」または、「もし~且つ~ならば~」という表現 で構築できます。"Smart Test Plan"の基準に合わないファイルが入ってきた場合に「も しそうでなければ」というケースも定義できます。

- ★ 新規にスマート検査プランを構築する
  - ① "Smart Test Plan " タブをクリックしてください。
  - ② "Test Name "グループから条件を選択します。FS 3140 のレポートで
    - "Stream Summary" セクションに表示されるファイルのメタデータに関してほ とんどの箇所を選択できます。

Home	Add New Job	Template Editor	Smart Test Plan	Settings	Log Out	
						Imp
Test Nam	e		Operator		Value	
Select			Select			
START ( File File 1 File 1 File 1 File 2 Contain Cont	GROUP Base Name Creation Date Extension Vodified Date Size er ainer Ancillary Prog ainer Audio Prog ainer Format ainer Format ainer Format ainer Format ainer Format ainer Torfiel/Form ainer Video Prog o Active Picture	rogram Count ram Count kate mat ram Count ram Count Height	es Corp 2008-2013			
Vide Vide Vide Vide Vide Vide Vide Vide	o Active Picture V o Aspect Ratio o Bit Depth o Bit Rate o Bit Rate Mode o Chroma Profile o Codec o Color Space o Duration o Frame Rate	Width				

- ③ "Operator"【演算子:"EQUAL"(等号)/"NOT EQUAL"(不等号)/
  - "CONTAINS "(~を含む)】を選択してください。演算子は、選択された条件によって動的に変化します。
- ④ 条件の演算子に対する値を選択してください。条件が既に定義された値(コーデック 名やコンテナ形式といったもの)ならば、自動的にそれらの値を含むリストになりま す。定義されていない値の場合は、正しい値を入力してください(整数で計測される 検査にアルファベットの値が入力されるなど、範囲外の入力があった場合はエディ タが注意を促します)。

Test Name	Operator	Value	Stream Sco
Container Format	Equal	Select     Select     Tassort Stream	Select
		Program Stream MXF	
LEADER FS3140 is trademark	LEADER Electronics Corp 2008-2013	QuickTime/MOV GXF	
		ASF/WMV/WMA	
		AVI	
		3GPP MP4	
		FLV	
		DXW	
		DCP	
		R3D	

- ⑤ この検査をコンテナ内のどのストリームに適用するか、"Strema Scope "を "ALL"または "ANY"から選択してください。特別に強制する必要のない限り、 "ALL"を選択してください。
- ⑥ **"Action "**を選択してください。
  - a. "AND IF": (且つ、もし~) 現在の条件と次の条件を使って、どのテンプ レートを使用するか判断します。
  - b. "OR IF": (または、もし~) 現在の条件、または次の条件を使って、どの テンプレートを使用するか判断します。
  - c. "USE TEMPLATE": (テンプレート使用) この時点までの条件結果から、 ここで指定したテンプレートを使用するか判断します。
- ⑦ "Action "で "AND IF "または、"OR IF "を選択したら、ステップ②に戻り、 検査したいファイルに適した条件が構築されるまで条件を追加し続け、最後に
   "USE TEMPLATE "を選択してください。"USE TEMPLATE "を選択すると、既 存のテンプレートリストからテンプレートを選択できます。

Stream Scope	Action	Template	Post action	Otherwise	
ALL 💌	USE TEMPLATE	Select			
		Select	×		
		4007-Quantization			
		4018-Perception			
		ATSC Broadcast			
		Audio-Test			
		CableLabs VOD			
		Codec			
		Codec and Container Syntax			
		ConsecutiveFrame			
		Container-Meta	_		
		DefaultCheck-0214	=		
		DefaultCheck-MXF_LR			
		DVB-T Broadcast			
		Film_Analog Ingest			
		IntraFrame			
		Innes Breadeast			
		Japan Broadcast no EBA			
		MacroblockCheck			
		Macroblocking			
		Netflix			
		Qtest_ARIB			
		Qtest_ARIB_Frame			
		Qtest_ARIB_No-Title-Card			
		Qtest_ATSC			
		Qtest_R128			
		Quality Test			
		Quick Scan			

⑧ 使用する検査テンプレートを選択すると、"Post Action "を選択できます。
 "NEW IF "で新たな条件のグループを始めることもできますし、入力されたファイルがそれまでの条件に一切該当しなかったものは、"OTHERWISE"の状態として一括りにもできます。"NEW IF "を選択した場合は、ステップ②~⑥を再度繰

返し、"OTHERWISE "の場合は、ステップ⑨へ進みます。

 ③ "OTHERWISE"を選択すると、一切の条件に該当しなっかたものに使用するテン プレートを選択するだけです。

1	Template	Post action	Otherwise	
TEMPLATE	Quality Test		Select Select Select Do NOTHING 4017-Quantization 4018-Perception ATSC Broadcast Audio-Test BlackLine CableLabs VOD Codec Codec and Container Syntax Consecutive/Frame Container-Meta DefaultCheck-M214 DefaultC	E

★ スマート検査プランを保存・削除する

"Smart Test Plan "ページ右上部にあるボタンを使って、構築したスマート検査プランの保存・削除が行えます。 \_\_\_\_\_ <sup>A前をつけて保存</sup>



★ スマート検査プランを使用する

"Smart Test Plan "を保存したら、"Add New Job "や "Hot Folder "、SOAP API の "Template List "に、名付けられたプラン名の頭文字に "ST\_" が付加されて表示されます。"Smart Test Plan" は常に "Template List "の上位に羅列されます。

★ スマート検査プランのインポート/エクスポート

"Smart Test Plan" タブにある "Import"/"Export" ボタンを使い、XML ファイ ルを介してインポートまたは、エクスポートすることができ、構築した検査プランを他 のFS 3140 システムで使用することができます。

- 6. 検査結果レポート
  - 6.1 検査結果レポートへのアクセス方法

検査結果レポートへのアクセスには2つの方法があります。

- 方法1: "HTML " アイコン をクリックして、ブラウザの新規タブまたは、ウィン ドウに検査結果レポートを開きます。HTML 形式の検査結果レポートでは、発生したイ ベントの収縮と展開をダイナミックに行えます。
- 方法 2: " PDF " アイコン → をクリックします。 PDF 形式のレポートを選択すると、 全ての詳細が展開された状態でクリック可能なリンクになっています。
- 6.2 検査結果レポートの閲覧

FS 3140 の検査結果レポートは、極力少ないページで全てのストリームの概要や QC の結果を 提供できるようにデザインされ、オンラインでもオフラインでも同じように閲覧できるように なっています。

FS140 Pro	John Respons Job 1d - 50062	
Controller: 4.2.855.4 (192.168.2.33) Verification Unit: 4.2.855.4 (192.168.2.33)		-
VU Mode: Multi Core		logy Innovator
With Avenuations: o NVE Deep Analysis used: None	Server 6 and	un lander on i
	51.000 380	es@leader.co.i
*****		
Status : Completed, with Errors	angut Parameters	
Started: 2013-05-13 08:55:05	Container : d:/DEMO-CONTEXTS/WP4/TS34-4_YOK0_IS5_HD1_BG1_10.mp4	
Ended: 2013-05-13 00:59:40	Template Used : TapeHit-All	
Job Duration: 00:04:35		
	Container - MPCG-4( Base Media )	
Fimecode : First Frame at 00:00:00.000	Stream Essence Count : 2	
Timecode Frame Count : Not Present	Stream Storage : Embedded	
Runtime : 00:10:00.880	File Stee : 304,42 x88 (319,205,834 bytes)	
Total Bit Kate ( 4.20 Mops (CBK/VBK Into not available)	105813406 : JUN-AC MIN (J19,200,034 09185)	
	Stream 0 (PID 0x0001) - MPEG-4 part 2 - Video	
Frame Count   15022	Frame Resolution: 1280 x 720	
Timecode : First Frame at 00:00:00:00 (Calculated)	Active Picture 5ize : 1278 x 720 (Measured)	
Timecode Frame Count : Not Present	Frame Aspect Ratio: 14:9 (1.78:1)	
Runtime : 00:10:00.660	Active Picture Aspect Ratio: 16/9 (1.77)1)	
Intertaced Mode 1 Progressive	Pixel Aspect Ratio 1 1.00	
Scan Order: Hot Present	AFD: Not Present	
Cadence : 1:1	Frame Rate : 25.000	
Color Space - YUV	Bit Rate : 3,965 Hops (CBR/VBR info not available)	
Chroma Profile : 4:2:0	Profile/Level - Simple / L1	
Color Gamut/Primaries : HONE	Buffer Stor - Not Present	
Color Depth : 6 bit	Luna Histopran :	
GO# Min/Wax : 1 / 12		
Customer (Aut) - T		
Quantization (Min/Max) + 2 / 21	La divisit.	
	1 mil	
(and (and ) 2010	Stream 1 (PD BID002) - Advanced Autho (colong - Autho	
Trans August (Anta)	Setting a merily and the setting of	
Construction Construction	ani mane, conversione nagle (vani)	
RUDDINE: VV.1V.VV.249	Peak audio level: -3.24 d8 (True Peak: -2.99 d8TP)	
Sit Depth: Hot Present	Average audio level: -22.41 (A/85)	
Hamber of Channels: 2	Oynamic Range: 23.11 db (LRA: 8.22 d8)	
anniana ID: tiona		

"General Header Information":検査結果レポートの最上部にあり、製品に関する基本的な情報【バージョン、サーバの IP アドレス、VU モード、GPU の有無】が左側に記載されます。ジョブ ID は中央、弊社へのコンタクト情報が右側に記載されます。必要に応じて弊社のWeb サイトかメールサポートをクリックしてください。

4	<u> </u>	
J	Status : Completed, with Errors	Input Parameters -
	Started: 2013-05-13 08:55:05	Container : d:DEMO-CONTENTS/WP417534-4_VOK0_05_HD1_061_10.mp4
•	Ended: 2013-05-13 D8:59:40	Fernplate Used : Tapetti: All
٩	Job Duration: 00:04:35	
	" Status : Completed / Completed, with E	Frors":検査結果レポート左上方にあります。
	ステータスバーの色で検査結果【 緑 : エラート	は検出されず 黄:警告が検出された 赤:エラ
	ーが検出された 】を表し、ジョブの開始・終了	「時刻と完了までに費やした時間情報が記載され

ています。	
Status : Completed, with Errors	
Annual Adda an an an an an	

Starbed: 2013-05-13 08:55:09	Container : d:/DEMO-CONTENTS/WP4/TS34-4_YOKD_K5_HD1_BG1_10.mp4
Ended: 2013-05-13 08:59:40	Template Used : Tapetts All
Job Duration: 00:04:35	
	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••

"Input Parameter":検査結果レポート右上方にあります。検査したコンテナファイルや検査に使用したテンプレートを含む一般的な入力パラメータが記載されています。

Container - APE	G-4( Base Media )
Timecode : First Frame at 00:00:00,000	Stream Essence Count 1 2
Timecode Frame Count : Not Present	Stream Storage : Embedded
Runtime : 00:10:00.660	Pile Size : 304.42 MB (319,205,634 bytes)
Total Bit Rate : 4,250 Hbps (CBR/VBR (mfo not available)	Total Size : 304.42 MB (319,305,834 bytes)
Vendor : Lav/54.59.107	

" Continer Metadata Summary ": コンテナ・メタデータの概要【Timecode, Timecode Frame Count, Runtime, Total Bit Rate, Vendor, Stream Esssence Count, Stream Storage, File Size, Total Size】が記載されます。

	Stream & (MD 0x0001) - MPEG-4 part 1 - Video
Frame Count : 19022	Frame Resolution: 1260 x 720
Timecode : First Frame at 00:00:00:00 (Calculated)	Active Picture Size : 1278 x 720 (Heasured)
Timecode Frame Count : Not Present	Frame Aspect Ratio : 16:9 (1.78:1)
Runtime : 00:10:00.880	Active Picture Aspect Ratio: 15:9 (1,77:1)
Interlaced Mode : Progressive	Pixel Aspect Ratio : 1.00
Scan Order: Not Present	AFD: Not Present
Cadence : 1:1	Frame Rate : 25.000
Color Space : YUV	Bit: Rade : 3.1955 Https: (CBR/VBR Info Hot available)
Chroma Profile : 4:2:0	Profile/Level : Simple / L1.
Color Gamut/Primaries : NONE	Buffer Size : Vien Present R 1
Color Depth : 8 bit	Luna Mittogram :
GOP Min/Max : 1 / 12	
Quantization (Avg) : 7	
Quantization (Min/Hax) : 2 / 31	

" Video Stream Metadata Summary ": ビデオストリーム・メタデータの概要 【Frame Count, Timecode, Timecode Frame Count, Runtime, Interlaced Mode, Scan Order, Cadence, Color Space, Chroma Profile, Color Gamut/Primaries, Color Depth, GOP Min/Max, Quantization (Avg),

Quantization(Min/Max), Frame Resolution, Active Picture Size, Frame Aspect Ratio, Active Picture Aspect Ratio, Pixel Aspect Ratio, AFD, Frame Rate, Bit Rate, Profile/Level, Buffer Size】が記載されます。R1 は輝度ヒストグラムで、テンプレートの "Default" で設定した Black / White レベル値が赤線で示されています。また、テンプレートで "Title Card" が要求されている場合は、

20man 1 (MD 0x0002) - Advanced Audie Coding - Audio						
Frame Count : 28151	Sample Rate: 48000 Hz					
Timecode : Not present	Bit Rate: 256.003 Kbps (CBR)					
Runtime: 00:10:00.546	Paak sudio lavait - 2.24 dti (True Paak: -2.99 dtTP)					
Bit Depth: Not Present	American Audio Tanuel					
Humber of Channels: 2	Dynamic Ranae: 22.11.40 (1.9.4: 0.22.40)					
Language ID: Hone						

"Audio Stream Metadata Summary ": オーディオストリーム・メタデータの概要【Frame Count, Timecode, Runtime, Bit Depth, Number of Channels, Language ID, Sampling Rate, Bit Rate, Peak audio level, Average audio level, Dynamic Range】が記載されています。ダイナミックレン ジと同様に、ピークと平均音声レベル (テンプレートの "Default" で設定した規格に準じて 計測された平均レベル) も記載されます。Dolby コーデックが使用された場合のみ、Dolby の メタデータが記載されます。



"Analysis Result / QC Summary ": 分析結果には、検査に使用したテンプレートやテンプ レートの仕様、エラー/警告/情報の内訳、パスした検査リストが記載されます。QC イベント のカテゴリをクリックすると、そのカテゴリで発生した QC イベントのリストを展開し、発生 件数および、クリップ内の出現率を見ることができます。検査名の隣にある検査インデックス 番号をクリックすると、その検査に関するヘルプが開きます。

また、"Jump To First Occurrence "リンクをクリックすると、イベント詳細に移動できます。

Errors (4 Unique , 134 Instances) [ Show All ] [ Hide Details Only ]		
Ibem ID : 2007.003 (Freeze Frame) [Iride Datalit] Instances : § (185/1799) total frames, 1.03% of clip) Rule Type : Video Quality Parameters		
Consecutive Freeze frames exceeds template threshold of	5 (ream - 0 (PD - 0.d)140) - MPEC-2 video Start at 27:27:27-28:00 ( GOP + 1 Frame Holes 2   Pic 2839   TCK 00:00:00:00 Continue free Biomenia Ends at 87:27:38:72   GOP 6   Frame Index 8   Pix 1974   TCR 00:00:00:23	
Consecutive Freeze frames enceeds template threshold of	70rean - 0 (Po - 0x0740) - MPEO-2 volve) Start at 27:27:23-040 ( GOP - 1 Transe Poles 87   Pot 20642   TCR 00.00:02:27 Continues for 2 manues Ends at 07:25:38:72   GOP 7   Frame Index 89   Pot 20928   TCR 00.00:00:29	
Corosecutive Freeze frames exceeds template threshold of	59ream - 0.990 - 0x0140) - M950 - 2146es Stars at 0712-23A-33 J - 0XP - 1 Tanze Holes 91   Pix 2149   TCR 00.00030-01 Continue for 5 Farman Ends at 07125-317268   0XP - 1 Frame Holes 96   Pix 23728   TCR 00.00030-06	
Consecutive Freeze frames exceeds template threshold of	17mam - 0 (Ho ) - 00140) - MPEC-2 videe Kann at 012 H-M (Ad ) COP + 1 Finane Index 118   Fix 2018   TCR 00:00:01:03 Continues for 68 H-Memesis Ends at 07:2H-CL ND   COP 14   Fixme Index 204   Fix 507N   TCR 00:00:06:04	
Consecutive Preeze frames exceeds template threshold of	50rain - 0 (H0 - 00140) - MRG-2 V660 Staria 80 (30H 16 - 10 Hamme Index 236   Pit 56124   TCK 00.00.07.16 Califolia 60 72H-03.77   GOP 16   Piame Index 233   Pit 5869   TCK 00.00.07.23	
tem ID : 2014 (Color Gamut Legality (EBU R103-2000)) <u>(Inice Parallel</u> Instances : 27 (1207/17991 total frames, 6.71% of Olip) Rule Type : Video Stream Parameters		
Cotor gamut is out of range ger EEU H101-2000, due to the chroma being 100% above the toterance levels	Stream - 0 /90 - Gol H0) - MPEG-2 video - Low Luna (IN, High Luna (IN, Low Onema (IN, High Onema: 1008) Tarra at 01-057-051 ( GOP 171   Frame Index 2441   France SH304   TCK 0001(2111) Contour for 1 Frames Cods at 07-0537-059   GOP 171   Frame Index 2442   Pit 677010   TCK 0001(2114)	
Ceter gamut is out of range per EBU 9103-2000, due to the chroma being 100% above the tolerance levels	Stream - 0 (HD - 0d/14) - MPED-2 video - Low Lunez (H), High Lunez (H), Lew Ontenez (H), High Ontenez (100) Karn at 27:0-037:391 (OP 171   Frame Index 2444   Pile 87:246   TCK 0001:21:14 Continue for 1° Harmes Ends at 07:40:57:485   GOP 171   Frame Index 2445   Pile 87:147   TCK 0001:21:17	

"Error/Warnings/Info/QC Details": エラー/警告/情報/QC の詳細が記載されます。

"Show All "をクリックすると、レポートされたエラーや警告または、情報の全リストを展開 して、QCの概要がその下に現れます。このリストには、"Item ID ", "Instance ",

"Rule Type "の情報が提供され、"Item ID "は実際に該当するルールへのクリッカプルリンクになっています。詳細なリストを非表示にするには、"Hide Details "をクリックしてください。また、これらのイベントにあるサムネイルをクリックすると、FS3140 Player でイベントが発生したフレームを一時停止状態で開きます。

Template Specifics (Japan Brandcast ) [bellis]

Seconsenting (Japan Brandcast ) [Japan Brandcast ) [Japan Brandcast ] [J

"Template Details":テンプレートの詳細が記載されます。FS 3140の検査結果レポートの 最後にある"Details"リンクをクリックすると、実際に行われた検査のリストが展開されま す。

- 6.3 検査結果レポートからの当該ファイルをFS 3140 Playerで開く
  - 1. 検査結果レポートを閲覧する Windows PC に FS 3140 Player がインストールされていることを確認ください。
  - 2. その Windows PC がファイルの置かれているフォルダへアクセス可能であることを確認 ください (FS 3140 サーバと同じアクセス権限)。

3. 検査結果レポートのサムネイルをクリックしてください。



4. FS 3140 Player はファイルを開いて、エラーの箇所で一時停止します。

# 6.4 FS 3140 Player " Review Bar "

**FS 3140 Player** 右下の **"Review Bar "**ボタンをクリックすることで、**FS 3140** の **QC** イベントが読込まれた別ウィンドウが表示されます。

	2	Review	Bar						
	[	Index	Description	Severity	Start		End .		Next >
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:35.9	16	07:39:35.		( Prov
		4002.003	Freeze Frame	Error	07:39:36.1	03	07:39:38.		
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:36.1	30	07:39:36.		
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:36.3	22	07:39:36.		
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:36.5	14	07:39:36.		
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:36.7	27	07:39:36.		Insert
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:36.9	19	07:39:36.		
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:37.1	11	07:39:37.		Edit
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:37.3	24	07:39:37.		Delete
1		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:37.5	16	07:39:37.		
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:37.7	30	07:39:37.		
		6003.004	Audio Loudness Detection (EBU R128 Momentary)	Error	07:39:37.9	22	07:39:37.	<b>T</b>	
		•	III				•		
		Timecode: Events fro	Millisecond based (PTS)      Frame based (TCR     W¥192.1682.33¥AuroraReport¥¥40059¥report×ml	)					

コンテンツを再生していると、再生位置から最も近い位置にあるイベントがハイライトされま す。イベントの移動は、リスト内のイベントをダブルクリックするか、"Next"ボタン、"Prev "ボタンを使用します。 **FS 3140** のイベントを変更する場合は、"Edit" ボタンをクリックします。ドロップダウンメ ニューが表示されるので、正確な評価に修正できます。

	• • • • •	
Alternating Lines tape hit	Error	υι
Alternating Lines tape hit	Error	0(
Alternating Lines tape hit	Error 🚽	00
Alternating Lines tape hit	Info	00
Alternating Lines tape hit	Warning	0(
Alternating Lines tape hit	Error	0(
Alternating Lines tang hit	Error	00

更に "Delete" ボタンを使って、FS 3140 の QC イベントを完全に削除することもできます。 QC イベントを削除すると元のイベント情報は、FS 3140 レポートの XML に

**"Original Events "**として保存されます。

"Insert" ボタンを使用して、自動的に拾えなかった QC イベントを追加することも可能です。

"Start"と"End"時間では、右クリックして"Use Current Player Time"を選ぶこと

で、FS 3140 Player における現在の時間を挿入でき	くます。
---------------------------------	------

	Severity	Start	End	▲ Next >
	Info	00:04:25 011	00-04-95-011	-
tape hit	Error	00:00:21	Use Curren	t Player Time
tape hit	Error	00:00:28.619	00:00:28.652	
- 1.14		00.00.00 00F		

# 7. FS 3140 その他の設定

7.1 検査処理の自動化

単純な自動化を提供するホットフォルダの設定は、"Manage Hot Folders " で行えます。



"Settings "タブに "Manage Hot Folders "セクションがあり、下記の項目を設定する必要があります。

- "Hot Folder Name" FS 3140 が検査するコンテナファイルの入力を監視するフォ ルダを設定します。
- "Template" 入ってきたコンテナファイルに対して、検査するためのテンプレート を選択します。スマートテストプランもこのリストに含まれています。
- "Success Path " テンプレートに則って全ての検査がパスしたコンテナファイルの 出力先を設定します。
- "Error Path " テンプレートに則って何らかのエラーがあったコンテナファイルの 出力先を設定します。
- "File Copy Only " ホットフォルダは、"Success Path " または、"Error Path " にコンテナファイルと検査結果レポートファイル、レポートに必要なファイルを含むフ ォルダを作成します。もし、コンテナファイルのレポートなどが不要な場合は、この項 目にチェックを入れてください。
- "Subfolders?" 通常、ホットフォルダのサブフォルダまでは監視しません【MXF OP-1bやHLS, MXF OP-Atom など参照要素を持つファイルで、ジョブが複製されない ように】。サブフォルダまでを監視して、ジョブが追加されるようにするには、この項目 にチェックを入れてください。
- "Sort " 入力されたコンテナファイルを、どのような順番でジョブに待機させるかを設定できます。選択としては、"FIFO "(入力された順序どおり処理)、"LIFO "(最新の入力を先に処理)、"Date created asc "(作成日時が新しい順に処理)、"Date created desc "(作成日時が古い順)、"Date modified asc "(更新日時が新しい順に処理)、"Date modified desc "(更新日時が古い順に処理)、"Filename asc "(ファイル名昇順[a → z]に処理)、"Filename desc "(ファイル名降順[z → a]に処理)、"File size asc "(ファイルサイズの大きい順に処理)、"File size desc "(ファイルサイズの小さい順に処理) があります。
- " Priority " 各ホットフォルダの優先度【1 (高)–9 (低)】を設定します。
- "Add" 全てのフィールドへの入力が完了したら、このボタンをクリックして、新しいホットフォルダを追加してください。

ファイルオペレーションにおいて、整合性チェックをサポートするサーバ上にあるホットフォ ルダを使用している場合、FS 3140のファイル整合性チェックを無効にするチェックを On【上 図オレンジで囲まれたチェックボックスをチェック】にすることで、Success および、Error フォルダへのコンテナファイルのコピー時間を節約することができます。

#### 7.2 Eメール通知

FS 3140 は必要に応じて、ジョブが完了したら自動的にユーザーへ E メールを送信するよう に設定が行えます。E メールの通知は、件名にコンテナファイル名と検査結果、本文にはエラ ーの概要、検査結果レポート(PDF)が添付されます。

"Settings" タブから、サーバの SMTP IP アドレス、E メールを生成するアカウントおよび、 E メールサーバとの接続のための SMTP ポート番号を入力してください。

Email Setup	
Server IP Address	123.123.123.123
From Email Id	FS3140@leader.co.jp
Port Number	11546
	Save

#### 7.3 過去のジョブの自動削除

"Settings "タブにある "Delete Jobs "機能を使って、サーバと SQL データベースから過 去の検査結果レポートを自動的に削除することができます。

Delete jobs				
Older than 0	) days	Backup file location:	Browse	Delete

各設定ボックスには、設定日数より古いものを削除する数値と、バックアップファイルの場所 (UNC パスのみ)を入力して、" Delete " ボタンをクリックしてください。FS 3140 は該当す るジョブを本当に削除して良いか確認をした後でクリーンアップを行います。

削除した後で、自動的にジョブを追加して FS 3140 に戻す方法がありませんので、FS 3140 ユーザーインタフェースやデータベースからそれらのジョブにアクセスする必要がないことを、 削除する前に必ず確認ください。

#### 7.4 マルチコア演算処理

FS 3140 出荷時の状態は、検査ユニット毎に 1CPU コアを使用するようになっています。これは最も CPU リソースを効率的に利用でき、複数の CPU 間でタスク分割するオーバーヘッドを避けて、常にジョブが満杯ならば最も速く処理することができる設定です。しかし、24 時間 365 日常時ジョブが待機していない場合や、1 つのコンテナファイルをできる限り速く処理したい状況も多く存在するため、FS 3140 では検査ユニット毎に 4CPU コアまでを割当てることのできるマルチコア処理モードを用意しています。

#### Manage Multicore Support

#### Multi-core support enabled

この設定は、"Settings" タブにあります。このモードを有効化(または無効化)すると、全てのジョブがリスタートされますので、ジョブが待機していない時に変更することをお勧めしま

す。

7.5 PDF検査結果レポート名

PDF 検査結果レポートのファイル名を分かり易い名称にしたい場合、"Settings" タブにある "PDF file name format" で調整ができます。下記に示す変数を使ってファイル名を定める ことができます。

%FILE_NAME%	コンテナファイル名
%PRODUCT%	製品名(この場合、FS 3140)
%JOB_ID%	ジョブ ID

標準で FS 3140 は、下記の名称で PDF 検査結果レポートを出力します。

```
% PRODUCT%-Report-Job-%JOB_ID%-FILE-%FILE_NAME%.pdf
```

7.6 隔離するファイルの場所

ホットフォルダを使用している場合、エラーが発生したコンテナファイルを移動させる場所を 設定でき、作業中に中止させられた異常なコンテナファイルは、ユーザーによるレビューが必 要であったり、単純に除外しないために隔離したいこともあります。

Aborted File (by Template) options				
Enable Quarantine Location	Kan (Kat	flava	Delete	

"Settings " タブにある "Abort File (by Template) options " で設定できます。

#### 7.7 ブラウズコントロールの変更

**FS 3140**の標準状態で使用されるサーバサイドのブラウズコントロールではなく、クライアントサイドのブラウズコントロールを使用したい場合はここで変更ができます。

ile Selector Type Preference	
Server side browse enabled	

サーバサイドのブラウズコントロールの場合、FS 3140 サーバがアクセスできないファイルを ジョブに追加することはできません。クライアントサイドのブラウズコントロールを選択する ことで、FS 3140 サーバと全く同じアクセス権限をクライアントマシンで持つことができます。 "Settings " タブにある " File Select Type Preference " で設定を変更できます。

"Server side browse enable"のチェックを外すと、クライアントサイドのブラウズコント ロールが有効になります。サーバサイドのブラウズコントロールにした場合、コントローラが 開くデフォルトの場所を指定することができます(クライアントサイドのブラウズコントロー ルの場合におけるデフォルトの場所は、OS 設定に依存します。)。

#### 7.8 アップグレードに伴うテンプレート互換チェック

FS 3140 をバージョンアップすると、旧バージョン下で作成されたテンプレートで使用されて いるパラメータが、新バージョンでは正しくない可能性があります。"Settings" タブにある "Check Template Compatibility"によって、FS 3140 をアップグレードした時に既存テン プレートとそのパラメータも含め確実にアップグレードできます。

Check Template Compatibility
Check

テンプレート互換のチェックをするとテンプレートのリストが表示され、FS 3140 の現バージョンにとって正しくないものをテンプレートエディタで修正するようにリンクが貼られ、修正の必要がある検査が正しくあるためにどのような修正が必要であるかの詳細が提供されます。

Index	ID	Name	Valid	Fix?
1	23	DefaultCheck-0214	False	Fix?
2	24	DefaultCheck-MXF_LR	False	Fix?
3	20071	4007-Quantization	True	View
4	20070	4018-Perception	True	<u>View</u>
5	20069	BlackLine	True	View
6	6	ATSC Broadcast	True	<u>View</u>
7	10055	Codec	True	View
8	7	CableLabs VOD	True	<u>View</u>
9	20059	Audio-Test	True	View
10	3	Codec and Container Syntax	True	<u>View</u>
11	20066	ConsecutiveFrame	True	View
12	20063	Container-Meta	True	View
13	8	DVB-T Broadcast	True	View
14	9	Film_Analog Ingest	True	<u>View</u>
15	10	iTunes	True	<u>View</u>
16	20067	IntraFrame	True	<u>View</u>
17	11	Japan Broadcast	True	View
18	30061	Japan Broadcast no FPA	True	<u>View</u>
19	10057	MacroblockCheck	True	<u>View</u>
20	20065	Macroblocking	True	<u>View</u>
21	20057	Netflix	True	<u>View</u>
22	10052	Qtest_ARIB	True	<u>View</u>
23	10054	Qtest_ARIB_Frame	True	View
24	10053	Qtest_ARIB_No-Title-Card	True	View
25	10050	Qtest_ATSC	True	<u>View</u>
26	10051	Qtest_R128	True	<u>View</u>
27	4	Quality Test	True	<u>View</u>
28	1	Quick Scan	True	View
29	2	Stream Summary Only	True	<u>View</u>
30	20062	Syntax-Container	True	View
31	30062	Tape hit only	True	View
32	20061	Syntax-Codec	True	<u>View</u>
33	5	Tape Ingest	True	View
34	20068	TapeHit-All	True	View
35	30063	TS34-4_YOKO_ISS_HD1_BG1_10.mp4:2013-05-13 14:47:01	True	View
36	12	UK Broadcast	True	View
37	20064	Video-Meta	True	View
38	10059	VideoQualityCheck01	True	View
39	10058	VideoQualityCheck	True	View
40	20058	V-Quality	True	View
41	13	XDCAM	True	View

# 8. FS 3140 Player

8.1 コンテナファイルの再生

FS 3140 Player にて、コンテナファイルの再生を開始するには、次の方法で使用します。

● アプリケーションのメニューバーから "File "→ "Open "を選択し、コンテナファ イルの場所を参照、コンテナファイルを選択します。

FS3140 Player					
File View Options	Help				
Open					
Open From Aurora					
Exit					
		(2) 133340 Pases			
		File View Options Help			
		2.80			
		2	ATS (D:) + DEMO-CONTENTS + MMEG-2	* 5 MELINGE	
		BR · BULLIZEUM-	1.66	17/1411 WES	• 0 •
		SRECYCLE.BIN	# 1534-4_VOKD_355_HD1_6G1_33.mpg # 7535_1_HMKD_DVB_HD1_8G2_10.mpg	2013/00/21 13:00 L-E-0097 2023/00/21 11:40 L-E-0097	1,404,145 KB
		AVI	E		
		- 104			
		a 9966-1			
		Evaluation Result			
		A Project			
		a sint a System Volume Information			
		🔒 tatsumi			
		Work Area			
			* * C*		
		22/15/01		<ul> <li>Madia Star (1) and</li> </ul>	ALC: NAMES OF
		27-64600		Media Files (*.mp     Media Files (*.mp	+ ven.* get
		27+fA800		Minis (*	47204

- アプリケーションのメニューバーから "File "→ "Open From FS3140 "を選択して、FS 3140 を起動します。"Home "タブのダッシュボードに表示された ▶ ボタンをクリックします。
- デスクトップ上の FS3140 Player アイコンヘコンテナファイルをドラッグ&ドロップ します。



● FS3140 Player アプリケーションのタイトルバーへコンテナファイルをドラッグ&ド ロップします。



8.2 サポートファイル

FS 3140 Player は、ストレージに現存する映像・音声の多くの種類のファイルをサポートしています。サポートするコンテナ、映像・音声コーデックは、2013年1月現在、以下のとおりです。

Containers :	TS, PS, MXF(OP-Atom, OP-1a, OP-1b, AS-02, AS-03), GXF,
	LXF, AVI, WMV/ASF, MOV/MP4, 3GPP, ISM(IIS Smooth
	Streaming), HLS/M3U8(HTTP Live Streaming)
Video Codecs :	H.264/AVC, MPEG-2, VC-1, XDCAM, AVC-Intra, IMX 30/40/50,
	Apple ProRes, Avid DNxHD, Cineform, DV, DVCPro 25/50/100,
	JPEG2000, Motion JPEG, Flash VP-6/7, H.263/+, MPEG-4 Pt.2,
	Baseband RGB/YUV/HUFF
Audio Codecs :	PCM(WAV/BWF/AES), AC-3/Dolby Digital, EAC-3/Dolby
	DigitalPlus, MLP/Dolby TrueHD, Dolby E, AAC, HE-AAC, DTS,
	DTS-HD/Master Audio, MPEG-1, MPEG-2/L-1/2/3, AIFF, WMA
	Standard, WMA Pro
Ancillary Codecs:	608 Captions, 708 Captions(wrapping/muxing modes of CDP,
	SCTE20 or ATSC/Grand Alliance), DVB Subtitles

#### 8.3 再生制御

再生は、FS 3140 Player のツールバーまたは、キーボードショートカットの何れかを介して 制御できます。 P5

P6 PFMMT P PCT 4 % PKT FRM 772 GOP 66 PTS 000025751 DTS 000025751 TCR 00002522 Video #1 MPEG-4 Audio #1 AAC Ancillary Data Program Video #1 MPEG-4 Audio #1 AAC Ancillary data Program P4 P2 P1 P2 P1

- P1:Play/Stop ボタン
- P2: Play/Pause ボタン (space キー)
- P3 : Rewind ボタン ( '←' キー)
- P4 : Fast Forward ボタン ('→' キー)

P5: ローケーションスクラバー
P6: ロケーションバーセクション
P7: ボリューム

通常 FS 3140 Player は、コンテナファイルの先頭から再生を開始します。ロケーションバー セクションの任意のデータを変更することで、特定の場所から再生を開始することができます。 また、ロケーションスクラバーで、再生位置を調整することも可能です。

ロケーションバーセクション

- PCT ファイル全体から見た現在位置のパーセンテージ
- PKT TS パケット番号(TS ファイルの場合のみ)
- FRM 映像フレーム番号
- GOP 映像 GOP 番号
- PTS presentation time stamp
- DTS decoded time stamp
- PCR presentation clock reference

8.4 再生エッセンスの選択

	-0														
FRMT	P F	ст	4 %	РКТ	FRM	73	<sup>2</sup> GOP	66 PTS	00:00:25.751	DTS	00:00:25.751	TCR	00:00:25:22		
	0						Video Video	#1 MPEG-4 ' 🗸	Audio Audio #1 AA	<u>-</u>	Ancillary Data	data- 👻	Program -All-	-	 si
	••														

部分のエッセンス選択セクションにて、再生するエッセンスを選択できます。

#### 8.5 表示オプション

FS 3140 Player では、プレゼンテーションビュー変更のためにいくつかのオプションがあります。

• View Zoom

アプリケーションのメニューバーから "View "  $\rightarrow$  "View Zoom " を選択して、表示 された Zoom 項目から選択します。

File	View	Options	Help				
50%	Vi	ew Zoom		•		25%	
	Au	udio Scale		•	~	50%	
	M	ode		•		100%	
	Sł	how Audio	Waveform			200%	- [
	Us	se Deinterla	ace Filter			Fit to Window	
						Custom	

- 定義された割合のスケーリング値が使用できます。モニタの解像度を超えたスケー リング値を選択した場合、FS 3140 Playerには水平または、垂直スクロールバー(必 要であれば、両方)が表示されます。
- "Fit to Window" 必要に応じて、ダウンしてスケールアップまたは、画像が モニタの解像度の内側に収まるようにウィンドウの尺度に合わせて表示されます。
- "Custom" 任意のスケーリング値を入力することができます。HD コンテンツ で 200% 以上の値を設定した場合、いくつかのビデオカードで問題を引起す可能 性があることに注意してください。

#### View Mode

アプリケーションのメニューバーから "View "  $\rightarrow$  "Mode " を選択して、表示された Mode 項目から選択します。

File	View	Options	Help					
50%	Vi	ew Zoom		•				
	Au	udio Scale		•				
	Mode			•	~	Windowed	Esc	
	Sł	how Audio V	Waveform			Full screen	F5	- [
	U	se Deinterla	ice Filter			SDI	F10	

- "Windowed" アプリケーションのタイトルバーやウィンドウコントロールを 表示します。本オプションは、コンテナファイルがオープンされていれば、ESC キ ーを押すことで利用できます。
- ・ "Full screen " アプリケーションのタイトルバーやウィンドウコントロールを

非表示にします。本オプションは、コンテナファイルがオープンされていれば、**F5** キーを押すことで利用できます。

Show Audio Waveform

次の2つのいずれかの方法でオーディオ波形を表示できます。

1. アプリケーションのメニューバーから "View "  $\rightarrow$  "Show Audio Waveform " を選択する。

File	View	Options	Help	
-65%	View Zoom			•
	Au	udio Scale		- F
	M	ode		- F
	Show Audio Waveform			
	U	se Deinterla	ace Filter	
				-

2. FS 3140 Player から ○ の部分をクリックするとオーディオ波形が表示されます。 オーディオ波形表示を非表示にするには、 の部分をクリックします。

FRMT	P PCT 4 % PKT FRM 772 GOP 66 PTS 00.0025.751 DTS 00.0025.751 TCR 00.0025.22 Video Audio Audio Ancillary Data Program Video #1 MPEG-4 • Audio #1 AAC • No ancillary data • All- i i
L	- Mattheware and Attack and the second s
R	
C	
LFE	
SL	- Mollenness - maareerenness - maareerenness - maareerennesse - maareeren - maareeren - maareeren - maareeren -
SR	

また、アプリケーションのメニューバーから "View "  $\rightarrow$  "Audio Scale " を選択 することにより、波形に示すスケールを変更できます。



- ・ "Fit To Window" ご使用のモニタの幅に波形全体を拡大・縮小します。
- ・ 時間係数による波形をスケーリングします。

#### Show Container Metadata

FS 3140 Player ツールバーの 'I' ボタン( の部分)をクリックすることで、コンテ ナのメタデータを表示することができます。

#### 8. FS 3140 Player



# 

リーダー電子株式会社 http://www.leader.co.jp 本社・国内営業部 〒223-8505 横浜市港北区綱島東2丁目6番33号 (045) 541-2122 (代表)